

# 令和5年度 第2回飛騨市総合政策審議会

日時：令和5年10月12日（木）午後1時～  
場所：市役所西庁舎3階 大会議室

1. 開 会

2. 市長挨拶

3. 会長挨拶

4. 協議事項

① 令和5年度9月議会で予算議決済の施策について … 資料①・②

② 令和6年度の施策（案）について … 資料③・④

～ 休 憩 ～

③ 自由討議

5. そ の 他

今後のスケジュール … 資料⑤

6. 閉 会

# 飛騨市総合政策審議会委員 名簿

(令和5年10月12日現在 敬称略)

区分	分野	役職	氏名	所属団体等
民	市民	委員	たけはら としひろ 竹原 敏弘	古川町区長会 会長
	市民	委員	よしざわ ちかし 吉澤 親	河合町自治会 会長
	市民	委員	たのした よしあき 田ノ下 嘉明	宮川町区長会 会長
	市民	委員	やまもと まさあき 山本 正明	神岡行政区長会 会長
	医療	委員	こんだ たけひこ 紺田 健彦	飛騨市医師会 会長
	介護	委員	あおやま かずひろ 青山 和弘	株式会社ななほし まごの手 社長
	子育て	委員	やなぎ あずさ 柳瀬 梓	増島保育園保護者会 会長
	防災	委員	ゆほら たかし 柚原 孝志	飛騨市防災士会 会長
	まちづくり	委員	かみや けいご 帰家 圭吾	T L S L実行委員会 委員長
産	商工業	委員	たにべ よしひろ 谷邊 芳弘	古川町商工会 会長
	観光業	委員	わたなべ たかし 渡邊 隆	(一社) 飛騨市観光協会 会長
	農業	委員	たなか かずお 田中 一男	飛騨市農業支援協議会 会長
	林業	委員	かみかわと ふくお 上川渡 福雄	飛騨市森林組合 副組合長
学	大学	委員	たかぎ あきよし 高木 朗義	国立大学法人岐阜大学 教授
	教育	委員	はやし よしなり 林 義成	教育関係有識者
	P T A	委員	まつい まゆみ 松井 真由美	飛騨市P T A連合会 子育て委員長
金	金融機関	委員	おんだ たかし 恩田 貴史	飛騨市金融協会 会長
労	労働団体	委員	たにぐち ひろこ 谷口 寛子	日本労働組合総連合会岐阜県連合会 飛騨地域協議会 事務局長

委員の任期 委嘱日から3年間(令和5年7月3日～令和8年3月31日)

委員変更の場合は前任者の残任期間

# 飛騨市物価高騰対策 第5弾

市では、物価高騰の影響を強く受けている市民や事業者の方々に丁寧なヒアリングを行い、その中で把握した市民生活や経済活動への様々な影響に対し迅速に対応するため、令和4年6月から様々な緊急対策に取り組んできました。

物価高騰が常態化し、各分野で価格転嫁が進み、賃金の上げも行われているものの、依然として市民の生活に大きな影響が見られています。この現状を踏まえ、国や県の支援が十分行き届いていない部分に対して市が対策を打っていくという方針のもと、今回第5弾の物価高騰対策を取りまとめました。

## 1. 国内の状況

### [政府等の動き]

- 政府は7月に経済財政諮問会議を開催。令和6年度予算編成に向けた議論の中で民間議員は、政府による電気・ガス料金抑制策などの物価高騰対策を段階的に縮小・廃止するよう提言、経済正常化が進む中で支援は低所得者などに絞るよう求めた。
- 内閣総理大臣は8月22日、燃料油価格の高騰対策を与党内で検討するよう指示。また、電気やガスも念頭に幅広い分野の物価高を踏まえた経済対策を9月中に考えていく意向を表明した。

### [物価の動向等]

- 7月の生鮮食品を除く消費者物価指数は、前年比3.1%上昇。電気・ガス代の下落によって伸び率は前月から縮小したが、食料などの高い伸びが続き、23カ月連続のプラス。
- 7月の消費動向調査によると、消費者意識指標である「暮らし向き、雇用環境、収入の増え方」などの指数が前月より上昇、その他の指標を合わせた消費者マインドの基調判断は、改善に向けた動きがみられる。
- 円相場は、昨年10月の151円台の円安が一転して今年は円高に振れたものの、4月から7月までの間は1ドル130円台前半から140円台前半で推移、円安基調が続く。
- 日本経済の展望としては、当面は海外経済の回復ペース鈍化による下押し圧力を受けるものの、蓄積されていた家計の購買需要（繰越需要）などに支えられて、緩やかな回復を続けると見られる。

## 2. 市内の状況

### 【市内における主なヒアリング結果】

#### (1) 市民生活（年金生活者への聞き取り）

- 色々な物が高くなっていると実感。
- 極力節約している。早寝早起きで光熱費を節約。
- いきいき券は通院でタクシーを利用することが多く助かっている。追加交付があればありがたい。

#### (2) 医療・介護・福祉サービス事業

- 物価高騰により電気代・医療材料費が支出増。
- 食事をガス調理から電気による温めに変更したことで、より電気への依存が高くなっており、入居者への価格転嫁も検討している。

#### (3) 農林畜産業

- 肥料原料の調達価格は、国際的な需給の落ち着き等により、令和4年10月頃をピークに低下しており、今後は小売価格も低下していくことが見込まれる。
- 家畜用粗飼料価格が高止まりしている。

#### (4) 製造業

- 材料費は価格転嫁できているが、光熱水費については価格転嫁しづらく苦慮している。

#### (5) 建築・土木・電気工事業

- 公共工事単価は、7月末時点対前年比で人件費は+7%、生コンは+10%の値上がり。
- 水道関係資材の値上がりが続いている。納期も通常時より1～2週間程度必要。

#### (6) 交通事業（JR・バス・タクシー）

- 貸切バスは、市民需要が徐々に回復。
- 夜のタクシー利用は増えつつあるが遅い時間帯に集中。台数を増やすまではできない。

#### (7) 飲食店、酒・飲食小売業

- 観光客の利用は増えてきている。インバウンドの増加も継続。
- スーパーは商品の値上がりが続いている。
- 外国人旅行者は春先に比べて落ち着いている。

#### (8) 宿泊業

- 宿泊需要はあるが、人手不足により食事等の準備が困難なところもあり。（古川エリア）
- 5～7月はビジネス需要が安定。（神岡エリア）

#### (9) 金融機関

- 原材料高は続いているが、現預金を持っている顧客が多く、なかなか新規借入に至らない。

### 3. 対策の考え方

- 物価高騰が常態化する中で、市の責務であるセーフティネットを構築するという方針のもと、**高齢者等の生活弱者および賃金の底上げやコストの適切な価格転嫁といった対応が困難な分野に対して支援策**を講じます。また、限られた財源で有効な対策を打つため、「トリアージ（緊急度と重症度に応じて優先順位を決定する）」の考え方で、真に支援が必要である分野に対策を講じます。
- 市が講ずる対策に必要な予算総額約7,500万円を9月議会に上程し、その財源としては、主に物価高騰対策のために予算計上していた予備費を充当します。

### 4. 支援・対策

#### I 市民生活への支援

##### ① **【新規】低所得世帯等に対する灯油券の交付**

事業別説明資料P.3（予算：27,000千円）

政府によるエネルギー価格高騰抑制策も先行きが不透明な中、冬期間の暖房使用時に家計への影響が大きくなる市民税非課税世帯および常に在宅での介護を行っている世帯を対象として、市内の灯油販売店舗等で使える「冬の温(ぬく)とい暮らし灯油券」を世帯当たり1.5万円分交付することで、家計を支援します。

##### ② **【拡充】いきいき券の追加交付による高齢者等の生活支援**

事業別説明資料P.4（予算：26,700千円）

令和5年改定により年金支給額は増額となったものの、それを上回る物価上昇によって依然として高齢者等の生活は厳しい状況にあることから、令和4年度に引き続き、高齢者等の外出・生活サービスに幅広く利用できる「生活応援！いきいき券」を一人につき1冊（4,500円分）追加交付することで、物価高騰による生活への影響の軽減を図り、高齢者の健康であんきな暮らしを応援します。

### ③ **【拡充】市立学校給食の食材費高騰に対する支援**

(予算：1,624千円)

当初予算では市立学校給食の様々な食材費の高騰分を見込んでいましたが、それを上回る食材価格の値上がりを受け、市立給食センターおよび古川国府給食センターにおける給食の食材高騰分3.0%分を公費により支援することで、保護者負担の給食費を据置き、従来どおり安全安心で栄養バランスの保たれた給食の品質を確保します。

## II 公共施設への対応

### ④ **【新規】指定管理施設における光熱費高騰に対する支援**

(予算：19,820千円)

エネルギー価格高騰が続く中で、指定管理施設における電気料金、ガス料金、燃料費の負担が大きくなっていることから、令和5年度4月～9月分を対象として高騰額相当分の10/10を支援します。

## 5. 今後の対応等

- 医療機関、社会福祉施設、私立保育園等および指定管理施設に対する10月以降の光熱費支援については、光熱費高騰や国県支援の状況を引き続き注視しながら必要性等を判断します。
- 農業用肥料の支援策については、今後の国県支援の状況を踏まえて必要性等を判断します。
- 今回の物価高騰対策において必要となる財源約7,500万円については、物価高騰対策のために当初予算で予備費計上していた1億円と前回6月補正予算において予備費に留保していた約1,800万円から約7,300万円を充当し、さらにふるさと納税約200万円を活用します。なお、予備費残額については、今後必要となる対策に備えて引き続き留保します。
- 物価高騰の常態化に伴って今後必要となる経費については、料金等の引上げを適切に進めつつ、新年度予算において所要の経費を計上するものとします。

※ 本資料に記載した施策は、市内の影響や国や県の今後の動向により、開始時期の変更や期間の延長等を検討します。

<問合せ> 企画部 総合政策課 0577-73-6558 (直通)

**令和5年度**  
**9月補正予算主要事業の概要**  
**(事業別説明資料)**



## 目 次

### (飛騨市物価高騰対策 第5弾)

<b>新規</b>	低所得世帯等に対する灯油券の交付（総合福祉課・地域包括ケア課）	.....	3
<b>拡充</b>	いきいき券の追加交付による高齢者等の生活支援（地域包括ケア課）	.....	4

### (その他)

<b>新規</b>	公共施設等におけるA E D屋外設置の推進（危機管理課）	.....	5
<b>新規</b>	子育て世代と新たな関係を築く保育園留学の検証（総合政策課）	.....	6
<b>新規</b>	障がい者等の地域共生・交流拠点の構築（総合福祉課）	.....	7

## 新規 低所得世帯等に対する灯油券の交付

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
27,000	一般財源	27,000	助成金	26,300
			通信運搬費	350
(現計予算 0)			その他	350

### 2 事業背景・目的

電気・ガス料金をはじめ食料品や生活必需品等の価格高騰が依然として続いており、特に所得の少ない世帯では日々の家計負担に大きな影響を与えています。また、政府による石油元売りへの支援施策も先行きが見通せない中で、本市のように冬期間における暖房が不可欠である寒冷地域では、燃料価格の高騰によって暖房機器の使用を控えるなど、市民の日常生活に支障を及ぼすことも懸念されます。

このため、市民生活における不安を解消するための対策として、令和4年度に引き続き、低所得者世帯等に対する冬季の暖房用の灯油代の支援を行います。

### 3 事業概要

市民税非課税世帯を対象に市内の灯油販売店舗等で使える「冬の<sup>ぬく</sup>温とい暮らし灯油券」を交付し、低所得世帯の家計を支援します。

また、物価高騰が長期化する中で、常に在宅での介護を行っており暖房利用頻度が大きくなる世帯に対しても、現行の家族介護応援手当に加えて冬季間限定の対策として灯油券を交付することで家計を支援します。

なお、現下の原油価格情勢に鑑み、世帯当たり1.5万円分を支援します。

- (1) 対象世帯 住民税非課税世帯 (約2,000世帯)  
家族介護応援手当支給世帯 (約100世帯)
- (2) 交付金額 灯油券15,000円分 (1,000円券×15枚綴り)
- (3) 交付時期 11月初旬より対象世帯に順次案内を送付



担当課：市民福祉部 総合福祉課 (☎0577-73-7483) 予算書：P. 20  
地域包括ケア課 (☎0577-73-7469) 予算書：P. 20

## 【拡充】 いきいき券の追加交付による高齢者等の生活支援

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
26,700	ふるさと納税 1,700 一般財源 25,000	助成金 25,000 印刷製本費 900 その他 800
(現計予算 24,000)		

(※ただし、補正予算計上額は32,000千円)

### 2 事業背景・目的

市が定期的に行っている物価高騰による影響調査や地域見守り相談員による訪問活動の中で、高齢者世帯からは、生活費を節約するために外出や温浴施設の利用を控えたり、食料品や衣料品の購入を切り詰めているなどの意見が多く寄せられています。また、令和5年の改定によって年金支給額は増額となったものの、物価上昇率が年金改定率を上回っているため実質はマイナスの状況にあり、依然として高齢者等の生活を取り巻く環境は厳しいものとなっています。

このことから、本年度も高齢者等の外出・生活サービスに幅広く利用できる「生活応援！いきいき券」を一人につき1冊追加交付することで、物価高騰による生活への影響の軽減を図り、高齢者の健康であんきな暮らしを応援します。

### 3 事業概要

高齢者等への物価高騰による生活への影響の軽減を図るため「いきいき券」を追加交付します。

- (1) 対象者 市内に住所を有して居住する、次の①～③のいずれかに該当する方
  - ① 70歳以上の方（昭和29年4月1日以前に生まれた方）
  - ② 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持している方
  - ③ 介護保険認定を受けている方

※今年度、既にいきいき券の交付を受けた方も追加交付の対象です。
- (2) 交付額面 生活応援！いきいき券 4,500円分（100円×45枚）
- (3) 交付期間 令和5年10月10日～令和6年3月29日  
※追加交付いきいき券の有効期限は、令和6年3月31日までです。
- (4) 申請方法 地域包括ケア課（ハートピア古川）又は各振興事務所窓口にて申請書及び対象者であることを確認できる書類等をご提出ください。

担当課：市民福祉部地域包括ケア課（☎0577-73-6233） 予算書：P.20

## **新規** 公共施設等におけるAED屋外設置の推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
3,000	ふるさと納税	備品購入費
(現計予算 0)	3,000	3,000

### 2 事業背景・目的

市では、広範な市域における急病人等発生時の初動対応のため、市内各地の市有施設にAEDを設置しています。しかし、いずれの施設も屋内設置のため、屋外でAEDが必要なときでも施設閉館時には使用できない場合があります。また、市内の自主防災組織や建設業者等からは、活動時や業務中における急病人等の発生に備え、AEDを配備したいが高額であるため購入が困難との声も寄せられています。

こうしたことから、市全域の公共施設等におけるAED屋外設置を推進することで「24時間だれでも必要な時にAEDを使用できる」環境を整備し、市民等の救命率向上につなげます。

### 3 事業概要

今年度は、試行的に一部の市有施設に設置済のAEDを屋外に移設します。以降は、市民や施設管理者等の意見を集約しながら、公民連携のうえ公共施設等へのAED屋外設置を推進します。

#### ①【新規】市有施設のAED屋外設置 (3,000千円)

現在、一部の市有施設に設置されているAEDを屋外の目に付きやすい場所（軒先、軒下、夜間照明のある箇所等）に移設します。なお、既存AEDは使用できる温度帯に限り（－5℃～50℃）があるため、移設に合わせて温度管理が可能な屋外用AED収納ボックスを設置します。

- ・飛騨市役所
- ・河合振興事務所
- ・宮川振興事務所
- ・神岡振興事務所
- ・古川町保健センター
- ・神岡町保健センター
- ・飛騨市図書館
- ・古川町公民館
- ・神岡町公民館
- ・文化交流センター
- (対象市有施設 10箇所)

#### ②【新規】普通救命講習等の実施 (ゼロ予算)

市有施設のAED屋外移設に合わせて普通救命講習やAED講習会を開催し、施設近隣の市民や施設利用者がAEDを正しく取り扱うための知識技能習得の機会を提供することで、救命活動に参画できる市民を育成します。

担当課：総務部危機管理課（☎0577-62-8902） 予算書：P.16

## **新規** 子育て世代と新たな関係を築く保育園留学の検証

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
5,500 (現計予算 0)	ふるさと納税	委託料
	5,500	5,500

### 2 事業背景・目的

近年、都市部では、ビル群の中にある保育園や園庭のない保育園が数多く存在し、のびのびとした自然環境の中で子育てをしたいと考える保護者が多くなっています。また、市内では、少子高齢化により保育園児数が年々減っていく中で、住民から保育園を活用した移住体験を行ってはとの提案が寄せられたこともありました。

こうしたことから、住民や首都圏の子育て世代のニーズに応えるべく、民間事業者が提供する「保育園留学<sup>®</sup>※」を導入し、田舎暮らし体験とのびのびとした自然環境の中で子育てができる機会を提供することで、新たな関係人口の創出・増加を図り、地域経済活性化につなげます。

※「保育園留学<sup>®</sup>」とは、株式会社キッチハイクが提供する地域と子育て家族をつなぐ留学プログラムで、全国で27自治体が導入（7月末現在）しており、2021年11月から2023年7月までの約2年間で216組の親子（約750名）の利用実績があります。

### 3 事業概要

民間事業者に委託し、受入手法等についての指導助言を得ながら本市独自の保育園留学プログラムを整備するとともに、本市の留学募集情報の制作と発信、留学希望者と市とのマッチングを含む保育園留学<sup>®</sup>の運用を開始します。また、令和6年度からの本格実施に向け、受入体制や制度運用に関して次の検証を行います。

#### (1) 受入を行う保育園及び体制等

保育園児の一時預かりが可能な河合保育園を実証モデルとして、園児の受入に際し必要となる設備、保育士配置等を検証します。

#### (2) 滞在施設

市内の一棟貸しゲストハウス等と調整・連携し、受入世帯が保育園留学中に滞在するための施設の規模や設備等を検証します。

#### (3) 保育園留学の募集

民間事業者が管理する保育園留学専用サイトで11月頃から募集を開始し、本市における保育園留学のニーズや募集手法を検証します。

#### (4) 保育園留学世帯の受入

保育園留学の仕組みを構築し、令和6年1月頃から受入を開始します。1世帯あたり約2週間の受入を行い、実際の受入の中で保育園留学全般の課題等を検証します。

担当課：企画部総合政策課（☎0577-73-6558） 予算書：P.16

## **新規** 障がい者等の地域共生・交流拠点の構築

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
ゼロ予算	—	—
（現計予算 —）		

### 2 事業背景・目的

飛騨市社会福祉協議会がハートピア古川内へ事務所移転することに伴い、市では、同協議会が事務所として使用していた場所を含む古川町公民館1階スペースについて、障がい福祉向上に関わる団体によって有効活用することができないかを検討してきました。

関係団体と協議検討を重ねてきた中で、現在、同公民館内で障がい者の通所施設を運営する「吉城山ゆり園古川分場」と、ハートピア古川内に事務所を置く「古川町身体障がい者福祉協会」に共同利用いただくことで協議が調ったため、今後は古川町公民館1階スペースを市内の障がい者等の地域共生と交流の拠点として開設するとともに、障がい福祉の市民啓発と情報発信に資する場として運営することを目指します。

### 3 事業概要

#### ① 障がい者等制作品販売ショップの新設（ゼロ予算）

古川町公民館1階に、障がい者等が制作した物品を販売するショップを11月上旬に新設します。吉城山ゆり園古川分場の焼きたてパンのほか、同園で制作されている物品を同園利用者自らが店員となって販売します。また、古川町身体障がい者福祉協会の事務局員も販売を支援するほか、他の障がい者就労継続支援施設や飛騨吉城特別支援学校で制作された商品の委託販売等を行うなど、同ショップを障がい者等の地域共生・交流の拠点として活用します。

#### ② 行政財産目的外使用料の免除（ゼロ予算）

市では、障がい福祉サービス事業者や関係団体等が相互に連携・協力して、障がい者等の地域共生を図る取組を推奨するとともに、市として積極的に後方支援するため、本件取組に関しての市有施設の行政財産目的外使用料を免除することとします。なお、この免除趣旨については、市要綱等により明文化するものとします。

担当課：市民福祉部総合福祉課（☎0577-73-7483）

## 飛騨市総合政策指針の振り返りシート

208 件

※「⑤評価」 ○：達成、△：概ね達成、×：未達成

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振り返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
1	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	I 誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち	○ 多様な人材が活躍する産業の支援	① 全ての産業における人手不足対策の推進	I 商工会議所や商工会、公共職業安定所等との連携を強化し、人手不足対策に関する情報やニーズを迅速に共有するとともに、事業所等が行う様々な人材確保対策を支援します。	商工観光部	市内に於いて、ハローワークの出張相談会を古川・神岡地区にて毎月開催。また神岡商工会議所に委託し職業紹介所を同年開設した。	相談件数 R2:ハロワ263件、神岡991件 R3:ハロワ259件、神岡913件 R4:ハロワ190件、神岡288件	○	
2	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	I 誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち	○ 多様な人材が活躍する産業の支援	① 全ての産業における人手不足対策の推進	I 事業者等が事業を継続するための取り組みを支援します。	商工観光部	事業承継やM&Aを支援するため、事業承継等促進補助制度にて、市の経済基盤の維持活性化を図った。	申請件数 R3:1件 R4:1件	○	商工会議所や商工会と連絡を密にし、事業者の事業継続の状況把握や、事業承継の体制作りを進める。
3	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	I 誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち	○ 多様な人材が活躍する産業の支援	① 全ての産業における人手不足対策の推進	I 飛騨牛繁殖研修センター「ひだキャトルステーション」や飛騨トマト研修所の他、専業農家等と連携した新規就農者の確保と、研修システムの構築、研修生の生活等にかかる支援を行うとともに、様々な研修機関等との連携を推進します。	農林部	J A・県・農業者と連携し就農フェアでの研修生の確保や、研修所・農家研修でのサポートを実施。 また、令和5年度より研修生・新規就農者への支援制度の拡充を行った。	キャトルステーション卒業 R4:1名 トマト研修卒業 R2:研修所3名 R4:研修所1名+農家研修1名 新規就農者 R2:トマト2名、畜産1名 R3:トマト3名 R4:トマト1名、畜産1名	△	トマト研修所の運営において、人材不足から常駐できる職員配置ができないため、農家中心の研修体制へ切り替える必要がある。また、キャトルステーションにおいても、研修責任者としての場長が不在となっており、研修体制の整備強化が必要である。
4	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	I 誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち	○ 多様な人材が活躍する産業の支援	① 全ての産業における人手不足対策の推進	I 就農者等の冬期間の就業支援と冬期間業務となる農産物及び農産物加工品の研究・開発を促進します。	農林部	令和2年度以降、冬期間の農産物としてイチゴ・キクラゲの市内生産がはじまりその定着への支援を行った。	イチゴ生産者2名、キクラゲ生産者3名	○	
5	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	I 誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち	○ 多様な人材が活躍する産業の支援	① 全ての産業における人手不足対策の推進	I 伝統技術や資格・免許が必要な産業について、後継者育成や資格・免許取得を支援します。	商工観光部	令和4年度から従業員資格取得支援事業補助事業を制度化し、資格取得した人材のスキルアップに取り組む事業者を支援した。	申請件数 R4:11件	○	
6	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	I 誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち	○ 多様な人材が活躍する産業の支援	① 全ての産業における人手不足対策の推進	I 人材マッチング団体と連携を強化し、関係人口による産業支援体制の構築を推進します。	企画部	一時的・季節的な人材不足解消と自社の仕事を通じた新たな関係人口創出を目的として、おてつたびなどの人材マッチングサービスの利用料に対する「関係人口創出支援事業補助金」制度を令和4年度に創設した。	R4補助実績 5事業者 延べ7回	△	事業者へ制度周知と活用促進を図る。人手不足の中での人材確保の一助となるようPRしていく。
7	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	I 誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち	○ 多様な人材が活躍する産業の支援	② 外国人材の更なる活用の推進	I 外国人技能実習生監理団体等との連携を強化し、事業者等のニーズに沿った支援を行い、事業者同士の相互交流を促進します。	商工観光部	各事業所の外国人材担当者同士の意見交換会を実施した。	外国人材採用事業所交流会 R2:7事業所 R3:7事業所 R4:8事業所	○	
8	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	I 誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち	○ 多様な人材が活躍する産業の支援	② 外国人材の更なる活用の推進	I 外国人が気持ちよく安心して飛騨市で就労できる環境整備を促進するとともに、互いに相談し合える仲間づくりを支援します。	商工観光部、企画部	外国人材と地域との交流を図る交流会を開催した。	外国人材交流会 R2:14名 R3:15名 R4:15名(一般参加6名含む)	○	
9	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	I 誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち	○ 多様な人材が活躍する産業の支援	③ 誰もが働きやすい環境整備の推進	I 女性や高齢者、障がいのある方、病を抱える方など、誰もが働きやすい環境を整備する事業者等を支援するとともに、就労される方の不安解消を支援します。	商工観光部	高齢者・障がい者社会進出補助制度にて、事業者が行う雇用環境整備を支援した。	申請件数 R2:3件 R3:9件 R4:4件	○	
10	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	I 誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち	○ 多様な人材が活躍する産業の支援	③ 誰もが働きやすい環境整備の推進	I NPO法人等と連携し、市内事業者等のインターンシップ受入れを促進するとともに、受入れ事業者等の負担軽減を支援します。	商工観光部	インターンシップ支援事業補助により、積極的に地元就職や定住を促進する、就労体験受入れ事業者の軽減を図った。	申請件数 R2:3件 R3:5件 R4:0件	○	

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
11	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	I 誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち	○ 多様な人材が活躍する産業の支援	④ 事業者等の情報発信力強化の推進	I 事業者自らの魅力的な情報発信による人材確保力の育成を推進します。	商工観光部	企業人材確保補助事業補助制度により、就職フェア出展・就職情報サイト掲載・人材紹介会社手数料に係る経費を支援した。	申請件数 R2:1件 R3:5件 R4:3件	○	飛騨圏域外からの就職者をサポートするため、社宅やアパートの整備に関する補助を拡充する。また、就職情報サイト掲載事業の補助率等について増加の見直しを行う。
12	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	I 誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち	○ 多様な人材が活躍する産業の支援	④ 事業者等の情報発信力強化の推進	I 事業者等の魅力的な就職情報を、情報が必要な学生やUIターンを検討している方々にピンポイントで届けるための情報発信を推進します。	商工観光部	高校生向け就職情報「ANKININARU」を制作し、市内高校生全員や、UIターン者に向けて配布した。	配布部数 R2:1,000冊 R3:1,000冊 R4:1,000冊	○	
13	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	I 誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち	○ 少人数でも持続可能な産業の支援	① 効率的な事業経営の推進	I 集積可能な農地の担い手への集約を促進するとともに担い手の生活を守り、後継者育成を推進します。	農林部	将来の農地利用を示す人・農地プランの実質化を図るため、令和2年度に各集落での話し合いを行い、担い手への集積を進めた。 また、令和5年度より将来の担い手となる新規就農者や後継者への支援制度の拡充を行った。	担い手への集積率 R2:32.7% R3:35.4% R4:36.0%	○	
14	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	I 誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち	○ 少人数でも持続可能な産業の支援	① 効率的な事業経営の推進	I 地域の実情に応じた営農スタイルの構築を支援します。	農林部	中山間地域であることから農地が狭小で、小規模農家が多いため、農作業の受託による効率的な営農への支援を行った。令和4年度から水稲作業受託支援の上限面積撤廃と新たに大豆作業受託支援を追加した。	水稲作業受託支援 (2,000円/反) R2:延べ面積119.6ha R3:延べ面積112.1ha R4:延べ面積114.6ha そば作業受託支援 (4,000円/反) R2:延べ面積5.2ha R3:延べ面積8.7ha R4:延べ面積8.0ha 大豆作業受託支援 (4,000円/反) R4:延べ面積13.2ha	○	
15	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	I 誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち	○ 少人数でも持続可能な産業の支援	① 効率的な事業経営の推進	I 営農意欲の低下を防ぐため、狩猟体制の強化と銃猟・罟猟を主とした捕獲技術向上の支援などにより鳥獣被害対策を推進します。	農林部	侵入防止柵等や狩猟免許取得に対する支援を実施したほか、R3より専門知識を有した猟友会員に業務の一部を委託。 R4からは、さらに地域に合った具体的な防除手法等について分かりやすい助言・提案と、きめ細やかな支援を行うため、鳥獣対策サポートセンターを設立した。	侵入防止柵等に対する補助実績 (件数及び受益面積) R2:27件 (542.6a) R3:22件 (712.7a) R4:9件 (420.0a) 狩猟免許取得補助実績 R2:2名 R3:3名 R4:2名	△	銃猟・罟猟に関する技術向上支援は、必要に応じて今後実施を検討する。
16	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	I 誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち	○ 少人数でも持続可能な産業の支援	② 新技術の導入による省力化の推進	I スマート農業や遠隔医療など、新技術や新システム等の導入により省力化に積極的にチャレンジする事業者等を支援します。	農林部、市民福祉部	スマート農業技術を用いて作業の省力化などを図る農業者へ支援を行った。	スマート農業機器導入支援 R2:田植機2台、ドローン1台 R3:コンバイン1台 R4県肥料高騰対策事業:田植機3台、コンバイン1台	△	農家数が減少する中、少ない人数でより多くの農業生産を行うため、引き続きスマート農業技術の導入を行う必要がある。
17	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	I 誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち	○ 少人数でも持続可能な産業の支援	② 新技術の導入による省力化の推進	I 新技術の導入や技術者のスキル向上を支援し、森林施業の効率化と山の保全を推進します。	農林部	ICTを活用した森林調査を令和3~5年度に実施するとともに、特に危険を伴う広葉樹伐採に関する技術研修会を専門家を招聘して令和3~4年度に実施した。	ICT技術を活用した森林の資源量調査 R3:5ha R4:40ha R5:年度内に実施 広葉樹伐倒技術研修会 R3:1回 (10名) R4:1回 (8名) R5:補助事業を新設	○	
18	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	II 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち	○ 新たな事業・商品・サービスを創造する事業者の応援	① 新たなマーケット開拓の推進	I モノづくり事業者等に寄り添った支援を行い、飛騨市を代表する製品の開発・ブランディングを促進します。	商工観光部、農林部	ものづくり事業者育成プロジェクト事業により、商品開発や、事業者の意識改革を図った。	参加事業者 R2:12事業者 R3:12事業者 R4:14事業者	○	

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
19	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	II 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち	○ 新たな事業・商品・サービスを創造する事業者の応援	① 新たなマーケット開拓の推進	I 都市部や海外など、域外での新たな販路拡大を行う事業者を支援するとともに、事業者等がチャレンジしやすい仕組みづくりを推進します。	商工観光部	物産展を開催する観光協会特産委員会への補助や、販路拡大のためコープぎふや大型商業施設に於いて物産展を開催した。本市や北陸4市と連携しアメリカへの輸出を伴う地域のPR事業をスタートした。	物産展開催R4 ・特産委員会 名古屋3回、大阪1回 ・コープぎふ 4回 ・ファボーレ富山 1回 ・サンフランシスコジャパンセンター 1回	○	海外への輸出取組みを推進するため、関係のある台湾や、シンガポール等市内事業者の販路拡大に取り組む。
20	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	II 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち	○ 新たな事業・商品・サービスを創造する事業者の応援	① 新たなマーケット開拓の推進	I 事業者等のインターネット等を活用した販路拡大を支援します。	商工観光部	ネットショップ事業者の育成を目的として(株)ヒダカラへ委託しセミナーを開催した。	ネットショップ事業参加者 R2:20事業者 R3:17事業者 R4:19事業者	○	ネットショップ事業者の裾野を広げるため初心者向けの講座を開設し、売り上げの柱となるよう事業者のスキルアップを図る
21	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	II 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち	○ 新たな事業・商品・サービスを創造する事業者の応援	① 新たなマーケット開拓の推進	I 飛騨市ビジネスサポートセンター等により、事業者に寄り添った伴走型の相談支援体制を推進します。	商工観光部	ビジネスサポートセンター及び岐阜県よろず相談を毎月神岡商工会議所、古川町商工会に於いて開設し、事業者の創業や資金繰り等の相談体制を整えた。	相談件数 R2:ビジサポ113件 (よろず60件) R3:ビジサポ131件 (よろず38件) R4:ビジサポ117件 (よろず42件)	○	
22	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	II 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち	○ 新たな事業・商品・サービスを創造する事業者の応援	② 新たな革新技術の活用による経営拡大の推進	I 時代の潮流を捉えた新しい事業や商品、サービスの開発・展開等に挑戦する事業者等を支援します。	商工観光部	新商品開発補助制度により、新商品を積極的に開発し挑戦する事業者を支援した。	申請件数 R2:10件 R3:22件 R4:10件	○	
23	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	II 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち	○ 新たな事業・商品・サービスを創造する事業者の応援	② 新たな革新技術の活用による経営拡大の推進	I 新技術の導入等により、既存事業の拡大を図る事業者等を支援します。	商工観光部、農林部	DX化により、作業の合理化・効率化するため、機材等の導入費用を補助することで、既存事業の拡大を図る事業者を支援した。	申請件数 R4:7件	○	
24	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	II 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち	○ 新たな事業・商品・サービスを創造する事業者の応援	② 新たな革新技術の活用による経営拡大の推進	I 商工会議所や商工会等との連携を強化し、事業者等に寄り添った経営指導や相談体制により、中小企業を支援します。	商工観光部	毎月神岡商工会議所、古川町商工会に於いてビジネスサポートセンター及び岐阜県よろず相談を開設し、事業者の相談体制を整えた。	相談件数 R2:ビジサポ113件 (よろず60件) R3:ビジサポ131件 (よろず38件) R4:ビジサポ117件 (よろず42件)	○	
25	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	II 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち	○ 自ら起業する人の支援と仕事づくり	① 新たな起業者の育成と受入環境整備の推進	I 都市部等からの副業者や兼業者の支援体制を構築し、NPO等民間団体との連携によりサテライトオフィスやシェアオフィスの設置を促進します。	商工観光部	令和3年度にサテライトオフィス開設支援事業補助金を制定したものの、事業者よりより広範な事業拡大を望む声があったことから、令和4年度より事業拡大支援事業補助制度を新設した。	申請件数 R2:0件 R3:0件 R4:2件	○	
26	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	II 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち	○ 自ら起業する人の支援と仕事づくり	① 新たな起業者の育成と受入環境整備の推進	I 起業に対する様々な支援体制を構築し、起業を検討されている方が気軽に新事業に挑戦できる環境整備を推進します。	商工観光部	ビジネスサポートセンターにて創業相談体制を整備し、起業化奨励金制度により、創業に係る資金繰りを支援した。	起業計画認定件数 R2:23件 R3:15件 R4:8件	○	
27	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	II 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち	○ 自ら起業する人の支援と仕事づくり	② 地域から仕事を供給する体制整備の推進	I 起業しやすい環境を整えるため、起業家への地域内からの仕事供給等による初期の経営安定を促進します。	商工観光部	飛騨市ビジネスサポートセンターの起業相談時に、地域の仕事供給を含め資金繰りが安定するための総合的なアドバイスを実施した。	相談件数 R2:17件 R3:46件 R4:48件	○	
28	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	II 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち	○ 地域資源を活かした産業づくり	① 広葉樹を活用した産業・まちづくりの推進	I 飛騨市(地域)産広葉樹に関わる関係者の連携を強化し、広葉樹のまちづくりに関する取組みを全国にPRするなど広葉樹活用を推進します。	農林部	令和2年度に飛騨市独自の広葉樹サプライチェーン構築に向け「飛騨市広葉樹活用推進コンソーシアム」を設立、その後、伐採地まで特定できる独自の流通を確立した。また、取組みをPRするため、総務省補助金を活用してWebサイトを制作・開設するとともに、広葉樹のまちづくりツアーを開催した。	飛騨市広葉樹活用推進コンソーシアム構成員 ・民間事業者17社 ・国、県、市 広葉樹のまちづくりツアー実施回数及び延べ参加者数 R2:5回(40名) R3:5回(34名) R4:4回(37名)	○	

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
29	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	II 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち	○ 地域資源を活かした産業づくり	① 広葉樹を活用した産業・まちづくりの推進	I 全国で広葉樹の活用に取り組んでいる他自治体や事業者等の関係者との連携により、関係者相互の交流や商品の共同開発、販路開拓のためのPRを推進します。	農林部	平成30年度に北海道中川町との姉妹森協定を締結した以降、相互交流を中心に事業を実施していたが、コロナ禍により事業の中断を余儀なくされた。広葉樹の国産材回帰が進む中、姉妹森協定に限らず広域連携による広葉樹活用の可能性を探るべく、国内各地の取り組みの情報収集及び具体的な連携に必要な意見交換を実施。	R4：(株)モリアゲへの委託により、国内各地における広葉樹活用の情報収集を実施 R5：上記を踏まえ、具体的な意見交換を1~2地域と実施予定(株)モリアゲへの委託)	△	R5に具体的な意見交換を実施する地域(1~2か所)との具体的な連携について協議を進める。
30	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	II 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち	○ 地域資源を活かした産業づくり	① 広葉樹を活用した産業・まちづくりの推進	I 広葉樹生産・流通・加工・製造事業者等との連携により、小径木を中心とした多様な広葉樹の流通の新しい仕組みづくりを推進します。	農林部	令和2年度に飛騨地域の関連事業者17社と行政による「飛騨市広葉樹活用推進コンソーシアム」を設立。飛騨市独自の広葉樹流通の仕組みづくりを進めるとともに、令和5年度にはコンソーシアムにより市内遊休製材所を再稼働させることで、飛騨産広葉樹の供給体制の強化を図った。	小径広葉樹販売実績(これまでチップになっていた原木を用材として販売) R2:58.112立米 R3:37.227立米 R4:74.589立米 R5:(90立米を計画) ※R4までの新規獲得顧客(新たな仕組みにより飛騨産材を販売した顧客)は30社 ※飛騨地域産材の用材としての販売量はR4実績で574立米	○	
31	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	II 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち	○ 地域資源を活かした産業づくり	① 広葉樹を活用した産業・まちづくりの推進	I 小径材の新たな活用方法を研究し、小径木広葉樹を高価格で販売できる新商品の開発を推進します。	農林部	(株)飛騨の森でクマは踊るを中心に、主に小径広葉樹を活用した新たなプロダクト及び空間等の開発を進めた。また、これまで実現しなかった家具メーカーによる地域材活用も徐々に進められており、R5には大手家具メーカーが限定モデルではあるが、飛騨市産広葉樹を活用した商品開発及び販売を開始した。	ヒダクマ受注案件(売上) R2:48件(108,796千円) R3:80件(98,578千円) R4:69件(106,741千円) ※いずれも1~12月間 飛騨市産材を活用する家具メーカー: R4までに2社	○	
32	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	II 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち	○ 地域資源を活かした産業づくり	① 広葉樹を活用した産業・まちづくりの推進	I 他自治体や岐阜県、林業事業者等との連携により、広葉樹の高付加価値化に必要な知見・技術を有した人材育成を促進します。	農林部	広葉樹林の高付加価値化に必要な知見・技術を有した人材を育成するため「広葉樹のまちづくり学校」を開校するとともに、針葉樹と比較して高い伐倒技術を要する広葉樹伐採の技術研修会を実施した。	広葉樹のまちづくり学校参加者 R2:20名(定員20名) R3:16名(定員16名) R4:24名(定員26名)	○	
33	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	II 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち	○ 地域資源を活かした産業づくり	② 薬草を活用した産業・まちづくりの推進	I 薬草の振興に関わるNPOや市民団体、企業等と連携し、薬草活用拠点施設「ひだ森のめぐみ」を核とした薬草料理教室や薬草活用体験会、フェスティバルなどの実施により薬草活用を促進します。	商工観光部	●薬草週間の実施(市民周知) 4月 流葉散策・生春巻き 34名 5月 角川散策・薬草講座 21名 6月 クロモジDAY 12名 7月 ヨモギ・クズDAY 22名	■ひだ森実績(4~8月) ・来場者 2,740人(R4比79%) ■飛騨市薬草フェスティバル ・来場者 1,000人 ・富山ツアー 40人/申込100人	○	
34	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	II 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち	○ 地域資源を活かした産業づくり	② 薬草を活用した産業・まちづくりの推進	I 全国の薬草活用自治体や団体等との連携を強化し、薬草を活かしたまちづくりのPRを推進します。	商工観光部	●全国シンポの開催(9月) ●新たなネットワークの拡大 ①和ハーブ協会(東京:全国組織) ②恵みの湯(各務原ハーブ) ③クロモジネットワーク 他	■新たな連携事業 3月 飛騨薬草DAY(恵みの湯)29名 6月 和ハーブDAY(協会)59名 7月 飛騨薬草DAY(愛知)38名	○	
35	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	II 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち	○ 地域資源を活かした産業づくり	② 薬草を活用した産業・まちづくりの推進	I 市民や観光客に身近に薬草を感じてもらうため、薬草を活用した商品・料理等の開発・提供を行う事業者等を支援します。	商工観光部	●商品登録制度の見直し(簡易) ●薬草料理教室の開催(NPO主体)	■商品登録状況 8月末 50商品 ※現在新制度営業中	○	
36	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	II 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち	○ 地域資源を活かした産業づくり	② 薬草を活用した産業・まちづくりの推進	I 大学や専門機関等との連携を強化し、薬草の食品としての栄養や薬理効果等について調査研究を進め、市民の健康寿命の延伸を推進します。	商工観光部	●富山大学学術指導契約(4/21) ①市民向け薬草講座での指導 ②市内現地指導(栽培・商品化他) ③市事業監修(事業全般助言) ●富山大学との連携講座(漢方)年5回(6~2月) 漢方講座	■漢方講座 6/3 39名 和漢薬体験 7/29 29名 食薬研究	○	

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
37	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	II 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち	○ 地域資源を活かした産業づくり	③ えごまを活用した産業・まちづくりの推進	I 飛騨産えごまの栽培の規模拡大を支援し、飛騨産えごまの振興を促進します。	農林部	飛系アルプス1号の出荷組合を母体とし、安定的な生産量の確保に向けた栽培講習会の実施に加え、生産者を増やすため様々な市民及び団体に対し周知し、えごまの推進を図った。	飛系アルプス1号出荷量(生産者数) R2 1,410kg(46名) R3 820kg(39名) R4 1,164kg(40名)	△	えごま栽培は手間がかかる上、生産者の高齢化により辞められるケースも増えており生産量が減少し続けている。そのため、中心経営体による大規模な増産若しくは、引き続き粘り強く周知を図っていく。
38	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	II 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち	○ 地域資源を活かした産業づくり	③ えごまを活用した産業・まちづくりの推進	I 市内の至る所で飛騨産えごまの活用が見られるよう、飛騨産えごまを使った料理や製品の造成を支援します。	農林部	えごまを使った料理を提供する店舗を増やしてきたほか、えごま月間(12月)を実施し、市内普及活動を行った。またえごま料理レシピも考案し、市内への普及を図った。	えごま月間参加店舗 R2 20店舗 R3 20店舗 R4 25店舗	△	市内飲食店でのメニュー提供だけでなく、えごまをより身近に感じて頂けるよう、地産地消や健康の視点からも家庭内での消費を増やせるような仕掛けを行う。
39	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	III 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 思い出に残る観光地づくり	① 観光客のニーズに合わせた受入環境整備の推進	I 天生・池ヶ原・深洞湿原への誘客を推進するとともに、安心して自然景観を楽しめる環境整備を推進します。	商工観光部、河合振興事務所、宮川振興事務所、神岡振興事務所	●天生 サイン工事(先送り) ●池ヶ原 電柵設置(7月) ※5月合同パト。カメラ・撃退器設置 ●白木峰 駐車場整備(5月) ●深洞 登山道補修(7月) ●天蓋山 新登山道整備(7月) ●安峰山 案内看板設置(7月)	■各資源入込数(振興事務所整理) ■森スケ(保全ボランティア) 7/16 池ヶ原ヨシ刈り他 26名 7/22 天蓋山新道整備 25名 7/30 深洞オオバコ除去 22名 8/6 天生オオバコ除去 15名 10/7 天蓋山新道補修 15名	○	
40	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	III 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 思い出に残る観光地づくり	① 観光客のニーズに合わせた受入環境整備の推進	I 飲食や特産品等の新商品開発を支援するとともに、連携したPR活動を推進します。	農林部	商工課と連携し、生産者の新商品開発をサポートするとともに、各種イベントでのPRについても連携して実施。	Excellent飛騨(R3・R4実施) 葛飾区産業祭出展(R4実施)	△	市産品のPR活動は短期単発で完了するものではなく、反復継続的に実施する必要がある。
41	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	III 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 思い出に残る観光地づくり	① 観光客のニーズに合わせた受入環境整備の推進	I 空き家等を活用したゲストハウスなど長期滞在しやすい宿泊環境の整備等を支援するとともに、ヒトやモノのシェアによる遊休資産等の活用を促進します。	商工観光部	●企業研修制度の創設 ・市内をフィールドに学ぶ(暮らし・文化) ・補助 交通費 5,000円/人	■研修受入状況(4~10月) ・3件(ゲストハウス連携) ※ゲストハウス=インバウンド需要拡大	△	■課題=制度活用 ①制度の周知不足 ②研修ネタの整理不足(パンフ整理)
42	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	III 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 思い出に残る観光地づくり	① 観光客のニーズに合わせた受入環境整備の推進	I 外国人や障がいのある方、高齢者、また、宗教上の制限がある方なども含め、誰もが楽しめる観光地づくりのため、ネットインフラの整備や食の多様性(フードダイバーシティ)への対応など、ハード・ソフト両面のバリアフリー化を促進します。	商工観光部	●インバウンド対策 ・フードマップの見直し(ムスリム他) ・飲食メニューの多言語化支援 ・ちよい呑みプランの造成・販売(濃飛) ●R5公式観光サイトのリニューアル	■古い町並み入込数(4~8月) R5 11万人(対前年比 122%) (対30年比 72%)	○	
43	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	III 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 思い出に残る観光地づくり	① 観光客のニーズに合わせた受入環境整備の推進	I 出版社などのプレスや旅行エージェントとの交流を図り、積極的な誘致活動により市の認知度向上とプロモーション力の強化を推進します。	商工観光部	●パブリシティ広報の強化 ・ターゲットメディア対策(首都圏) ●各種商談会への参加 ・東京、大阪、名古屋、シンガポール	■広告換算 R3 16億円 → R4 26億円 ※映画ロケ地、薬草、ガッタンゴー ※観光大使の有効活用	○	
44	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	III 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 思い出に残る観光地づくり	① 観光客のニーズに合わせた受入環境整備の推進	I 飛騨市観光協会やNPOをはじめとする各種団体、大学等と連携し、マーケティングやコーディネーター等、観光関連事業の中心となって動ける組織や人材育成を進めるとともに、新たな誘客手法の開拓を推進します。	商工観光部	●観光協会連携事業(自主企画) ①サッカー大会(大会誘致) ②三蔵めぐり(新たな資源活用) ●大学連携 ①名古屋大学 観光DX ②新潟大学 町並み景観保全	●観光協会新規事業 ①U14サッカー大会 6月 延べ200泊 ※観光大使連携 ②三蔵めぐり 11月~	△	■課題=体制強化(観光協会) ①観光協会人材確保(マネージャー) ②会員との連携強化(入札活用) ③効率的運営(外部委託)
45	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	III 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 思い出に残る観光地づくり	① 観光客のニーズに合わせた受入環境整備の推進	I スポーツ大会や合宿、文化芸術活動や大学ゼミ、国際会議等を積極的に誘致し、受入れ体制の整備等により市内での様々な活動を支援します。	商工観光部	●コンベンション誘致補助制度 1泊:600円/人 【主要大会】 ・関西ラグビー大会 2,000人泊 ・JSPサッカー大会 2,500人泊 ・愛知FCサッカー大会 2,700人泊	■誘致状況 R4 28件 延べ宿泊数:10,290泊	○	

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
46	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	Ⅲ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 思い出に残る観光地づくり	② ヒト・モノ・コトを楽しむ新たな観光コンテンツの開拓推進	Ⅰ 飛騨古川まつり会館やひだ宇宙科学館カミオカラボ、レールマウンテンバイクガッタンゴーを活用した観光客の滞在時間延長を促進します。	商工観光部、 神岡振興事務所	●飛騨古川 R5 まつり会館誘客対策 ●飛騨神岡 R5 神岡町歩きツアー造成 ※ガッタンゴーツアーオプション	■まつり会館(4~8月) ・入館者 9千人(対前年比122%) ※対H30年比 88% ■神岡ツアー(4~9月) ・7月販売開始 12人 ※ガッタンゴー1,785人	△	■課題=観光動態(人流) ①道の駅から町中への流入不足 分析:集客上位 道の駅 課題:町への流入が少ない 対策:道の駅PR強化
47	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	Ⅲ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 思い出に残る観光地づくり	② ヒト・モノ・コトを楽しむ新たな観光コンテンツの開拓推進	Ⅰ 事業者や市民と連携し、起し太鼓の里広場の有効活用や、通年体験メニューの造成、事業者等と連携したナイトタイムエコノミー等により観光消費の拡大を促進します。	商工観光部	●おまつりマルシェの開催 ●ひだあそび(体験)の販売 ●景観夜景検討(デザイナー) 8/26照明探偵団開催	■マルシェ(7~11月) 7月:10店舗 8月:4店舗 9月:9店舗(半布里、畳パト)	△	■課題=サービス向上 ①おまつりマルシェの集客(協会) ※新たな運営組織必要 ②町の休憩場所不足(日陰) ③景観夜景のテスト導入(市民認知)
48	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	Ⅲ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 思い出に残る観光地づくり	② ヒト・モノ・コトを楽しむ新たな観光コンテンツの開拓推進	Ⅰ アニメや映画、映像作品を活用したコンテンツツーリズムを推進するとともに、市民主体とした“おもてなしの心”により飛騨市を舞台とした映像コンテンツ制作を支援します。	商工観光部	●ロケ誘致の推進 ・ロケハンツアーの開催(営業) ・ロケ地マップの作成(誘客活用) ・企業版ふるさと納税の活用(資金)	■R4誘致状況 ・映画1 ドラマ1 その他TV番組多数 ■R5誘致状況 ・映画2 その他TV番組多数	○	■課題=受入体制 ①ロケ対応人材の確保(市民) ②制作会社の見極め ③権利処理=効果的広報
49	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	Ⅲ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 思い出に残る観光地づくり	② ヒト・モノ・コトを楽しむ新たな観光コンテンツの開拓推進	Ⅰ まちや自然の魅力を伝える観光ガイドツアーの拡大とガイド育成を推進します。	商工観光部	●ガイド育成事業の推進 ①飛騨古川夢ふるさと案内人会 ②神岡町歩きガイド ③自然案内人協会	■研修開催状況 ・定期勉強会(市施策:葉草他) ・自然ガイド養成講座(新規育成)	○	
50	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	Ⅲ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 思い出に残る観光地づくり	② ヒト・モノ・コトを楽しむ新たな観光コンテンツの開拓推進	Ⅰ 飛騨市特有の地域資源や歴史文化資源を活用した既存コンテンツの拡充と新たな観光コンテンツづくりを推進します。	商工観光部	●葉草プロジェクトの推進 ●山城観光の推進(R5~強化) イベント出展(大阪、横浜、名古屋) ※姉小路関連史跡国指定予定	■イベント出展 8/11~13 大阪お城フェス 8千人 今後名古屋、横浜出展予定	○	■課題=PRツール不足 ①山城関連商品の開発 ②文化振興課との連携(学術面) ※イベント講師=人気
51	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	Ⅲ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 思い出に残る観光地づくり	② ヒト・モノ・コトを楽しむ新たな観光コンテンツの開拓推進	Ⅰ 関係団体や企業と連携し、クアオルト健康ウォーキングに代表される個々人のペースに応じた効果的な運動によるヘルスケアツーリズムを推進します。	教育委員会事務局	令和元年度設立された飛騨市クアオルト健康ウォーキング協会への事業委託により、定例ウォーキング、イベント型ウォーキング、公認指導員養成事業、R4,R5では県内他市クアの道での交流を実施した。コロナ禍においても参加者は増加しており、市外団体の参加もあり、更なる事業の推進が期待される。	●定例ウォーキング参加者(個人・団体) R1 136人、R2 302人、R3 394人、 R4 466人 ●公認指導員新規認定者 R2 8名、R3 1名、R4 2名 R5現在計11名 ●クアの道・協会独自コース認定 H29 朝霧の森、森林公園コースがクアの道認定 R2 アルプス展望神秘の森コースがクアの道認定 R4 小島城、藤波八丁コースをガイド協会認定コースとしてオープン	○	医療機関(循環器系)との連携について、ウォーキング時における病院からの講師派遣などが実施できていないため、連携協定締結に向けて取組たい。
52	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	Ⅲ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 都市部への訴求力が高い農林畜産業づくり	① 飛騨米など農作物の高付加価値化による販路拡大の推進	Ⅰ 産直市場を核とした農産物及び農産加工物等の地産地消、地産外商の強化を推進します。	農林部	R4.7月に道の駅アルプ飛騨古川構内に新たな直売所を開業した。また市内産品の販路拡大や他地域でのPRを強化し、地産外商を推進した。	直売所全体の売上推移(3施設) ※実収入ベース(取扱い手数料分のみ) R2 19,091千円 R3 22,579千円 R4 47,643千円	○	直売所の需要は十分にあるものの、品数が足りないため、出荷者の増加と多種多様な野菜づくりに向けた取組みを引き続き実施する。
53	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	Ⅲ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 都市部への訴求力が高い農林畜産業づくり	① 飛騨米など農作物の高付加価値化による販路拡大の推進	Ⅰ アンテナショップ等による農産物及び農産加工物の販路拡大を推進します。	農林部	都内に加え名古屋、岐阜での農産物及び農産加工品の販路拡大に向けて準備を進めており、R5の稼働を目標に現在調整中。また、直売所を拠点とした首都圏・北陸圏の市場への配送も個別案件として調整し稼働を開始。	・首都圏中部インフォメーションプラザ新宿 ・ギフトプレミアム(名古屋) [個別案件] ・有機野菜⇒富山総曲輪「地場もん屋」 ・そやな⇒東京青山ファーマーズマーケット ・そやな⇒富山生協	×	都市部への販路拡大については、輸送コストの面で課題が残っているほか、出荷側の手間の課題がある。

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
54	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	Ⅲ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 都市部への訴求力が高い農林畜産業づくり	① 飛騨米など農作物の高付加価値化による販路拡大の推進	Ⅰ 事業者等との連携を強化し、国際的に評価されている飛騨米のブランディングにより、高付加価値化した商品としての都市部での販路拡大を推進します。	農林部	都内において「Excellent飛騨米」を実施したほか、ふるさと納税のノベルティ、ECを通じて販売強化を図った。また、「飛騨市うまいお米アワード」にて、市内米生産者を表彰するなど、飛騨米のクオリティの高さを市内外にアピールしてきた。	Excellent飛騨米(R3実施) 飛騨ごはん食堂(R3実施) 飛騨市うまいお米アワード(R3~) 道の駅での販売促進・試食会(R4) 飛騨市地域産米ブランド化支援事業 R2 3件/R3 1件/R4 0件	△	飛騨市うまいお米アワードは継続して実施する。地域米ブランド化支援は、米だけでなく飛騨市内で生産される青果物にまで対象を広げる。 また都市部での販路拡大については、既に全国的に有名な銘柄が揃う中、都内店舗でのPRでは知名度は上がらないため、食の大使や影響力のある都内シェフによる口コミや評価によって少しずつブランディングしていく方向にシフトする。
55	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	Ⅲ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 都市部への訴求力が高い農林畜産業づくり	① 飛騨米など農作物の高付加価値化による販路拡大の推進	Ⅰ 飛騨市に古くから伝承している飛騨地域特有の農産物を継承及び活用していくための仕組みづくりを推進します。	農林部	伝承作物を使ったレシピ作成や、直売所出荷者に対して種を配布するなど、直売所での販売や伝承作物月間を通じて市民への周知に繋がった。	伝承作物のレシピ作成 R2 12品/R3 7品/R4 2品 (計21) 伝承作物の種配布 R2 17名/R3 20名/R4 74名)	△	市内における伝承作物の認知度はまだまだ低いと、広報への掲載や伝承作物月間での周知、市内直売所での販売を通じて認知度向上を図る。
56	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	Ⅲ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 都市部への訴求力が高い農林畜産業づくり	① 飛騨米など農作物の高付加価値化による販路拡大の推進	Ⅰ 生産者や消費事業者等との連携を強化し、市内飲食店や宿泊施設等での飛騨市産農作物の流通を促進します。	農林部	市内生産者と飲食店の連携による飛騨市まるごと食堂を継続して実施し、市内外に対して市内産の周知を図った。	まるごと食堂 参加店舗(生産者数) R2 20店舗(15農家) R3 25店舗(15農家) R4 23店舗(13農家)	△	参加店舗によって売上差が生じており、毎年の参加(飲食店・農家)が減少している。周知や市外の方にも利用頂けるような仕掛けが必要。
57	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	Ⅲ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 都市部への訴求力が高い農林畜産業づくり	② 飛騨牛など畜産の生産体制強化と新たなブランド開発の推進	Ⅰ 飛騨地鶏や飛騨市産経産牛のブランディングによる販路拡大を進めるとともに、市内での認知度向上を推進します。	農林部	飛米牛、飛騨地鶏のPR用パンフやポスターの作成のほか首都圏レストランへのサンプル送付、取扱店へのPRグッズの配布などを行った。 また、地鶏の高付加価値化を実現するためコーシャ認証の取得のサポート実施。	飛米牛取扱店 3店舗 飛騨地鶏と取扱店 7店舗	×	飛米牛は市内取扱店舗の拡大を進めているものの仕入価格の問題や出荷量が安定しないことから拡大に行き詰っている。一方、飛騨地鶏の取扱店舗が徐々に増えつつあるが、ふるさと納税を優先し出荷することから市内事業者への出荷が安定しないため、これ以上の取扱店舗の増加するには、より生産量を増やす必要がある。
58	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	Ⅲ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 都市部への訴求力が高い農林畜産業づくり	② 飛騨牛など畜産の生産体制強化と新たなブランド開発の推進	Ⅰ 飛騨市家畜診療所を核とした診療体制の強化を図り、飛騨牛の増頭と牛白血病等の家畜伝染病の予防対策を促進します。	農林部	令和2年度からの獣医学生インターシップ支援補助金等で獣医師確保対策を実施。3年目にして獣医師を確保でき、今後診療体制の強化を目指す。農家も安心して増頭や伝染病の清浄化に取り組むことができるようになった。	・獣医師2名の獲得 ・優良繁殖雌牛の増頭支援68頭、新增築牛舎での増頭支援30頭 ・リンパ腫淘汰更新17頭、陽性率25%→17%	△	現在、受精卵採卵については外部委託しているが、今後更に採卵が増えることが予想されるため、飛騨市獣医師ができるよう体制を整える。また増頭対策として農家からの要望が多い、更新牛対策を実施し、牛リンパ腫については、陽性率0%になるまで継続としたい。
59	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	Ⅲ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 都市部への訴求力が高い農林畜産業づくり	② 飛騨牛など畜産の生産体制強化と新たなブランド開発の推進	Ⅰ 飛騨地域3市1村での連携により、令和4年度の全国和牛能力共進会の応援体制を強化し、飛騨牛のブランディングを推進します。	農林部	平成30年の前回大会終了後から、3市1村及び関係機関が連携し、牛を調教・出品する畜産農家の技術・金銭面でのサポートを実施し、令和3・4年度には、飛騨地域共同の広報活動や各市村での応援ツアーの実施により「飛騨牛」を全国的にPRした。飛騨市においても、独自のPRグッズ製作や飛騨市民応援ツアーを企画し、飛騨牛の知識浸透と共に現地鹿児島での応援を実施した。	・飛騨市からの出品牛0頭 ・事前勉強会参加4名(コロナ禍のため 事会は中止) ・ツアー参加者10名	△	令和4年度の鹿児島大会では飛騨市からの出品が無く、盛り上がりにかけていたため、次回令和9年に北海道で開催される全国和牛能力共進会に向けては、和牛改良組合自ら積極的に取組む姿勢を持つよう支援していきたい。またこれに向け市民応援企画を、飛騨畜産振興会と連携し早めに取組む。
60	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	Ⅲ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 都市部への訴求力が高い農林畜産業づくり	③ 農林畜産業を支える基盤整備の推進	Ⅰ 生産基盤の計画的な整備を行うとともに、農業用水路や林道施設等の長寿命化による長期的な施設機能の確保に向けた保全対策を推進します。	基盤整備部、 農林部	農業用施設についてはR2年度より三ヶ区用水、R3年度より山田防災ダムの長寿命化事業を実施した。 林道施設についてはR2~R4において3路線の老朽化した法面施設の保全対策を実施した。	三ヶ区用水 (R2~R4) 用水路L=281m、ゲート7箇所 山田防災ダム (R3~R4) 洪水吐き補修 1式 R2杉越線L=32m、灘見谷線L=24m R4小萱~蔵柱線L=10m	○	

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
61	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	Ⅲ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 関係人口等との交流によるまちづくり	① 関係人口との関係深化によるまちづくりの促進	I 「飛騨市ファンクラブ」や「飛騨市ふるさと種蔵村」など、飛騨市のファン拡大と相互の交流を推進します。	企画部、宮川振興事務所	会員特典の見直しなどでサービスの充実を図るとともに、会員との交流を継続する中で、未永い会員との関係づくりを行っている。	R5.7月末現在会員数 12,165人 R4年度 おもてなしクーポン発行 505枚 想定経済効果 約130万円 宿泊特典利用 661件 想定経済効果 約540万円 ファンクラブオンラインショップ売上 年間458件 売上174万円	○	
62	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	Ⅲ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 関係人口等との交流によるまちづくり	① 関係人口との関係深化によるまちづくりの促進	I 事業者や大学等との連携により全国や海外の関係人口拡大を促進するとともに、関係深化のメカニズム研究を推進します。	企画部	令和元年度に全国の5,000人を対象としたアンケート調査を実施。関係人口の研究成果を論文化し、令和2年12月の沿岸域学会誌で発表した。	ファンクラブ会員数 R2: 6,283人 R3: 9,617人 R4: 11,239人	○	
63	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	Ⅲ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 関係人口等との交流によるまちづくり	① 関係人口との関係深化によるまちづくりの促進	I 「関係案内所」を創設し、飛騨市との関わりに関する情報提供や地域とのマッチングによる市内での様々な活動を支援します。	企画部	地域課題が交流を生む資源と捉え、課題解消を通じて市民と外部人材との交流を生み出す仕組み「ヒダスケ」を令和2年度に創設した。	ヒダスケ参加者数 (延べ人数) R2: 445人 R3: 519人 R4: 812人	○	関係人口創出の新たな取り組みとして、保育園留学を実施。R5年度冬季に体制や制度運用の検証を行い、年間を通じて受入可能な体制を整えたい。
64	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	Ⅲ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 関係人口等との交流によるまちづくり	① 関係人口との関係深化によるまちづくりの促進	I ふるさと納税の取り組みを強化するとともに、返礼品の発掘やふるさと納税を入口とした飛騨市ファンの獲得を推進します。	企画部	ファンクラブ、ヒダスケの取組みを推進し、関係人口を増加させるとともに、令和4年度では18種類の用途を用意し、ふるさと納税額を増加させた。	ふるさと納税 (ファンクラブ会員) 実績 R2: 15.5億円 (6,283人) R3: 18.2億円 (9,617人) R4: 18.9億円 (11,239人) R4ふるさと納税全国ランク 岐阜県内3位、全国105位	○	
65	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	Ⅲ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 関係人口等との交流によるまちづくり	② 連携・提携等による交流の推進	I 海外を含む他の自治体や大学、企業、団体など、様々な形での連携を推進します。また、これらの主体が市内で活動を行うための拠点を誘致することで、地域活動・経済への波及効果を促します。	企画部	大学連携 (岐阜大学、大正大学、静岡大学)、これまでに縁のある企業 (ポッカサッポロ、中日ドラゴンズ、名古屋グランパス、KDDI、楽天、サントリーなど) とのコラボ企画の実施、ソーシャルビジネス支援事業からの保護猫シェルターの新設 (R4.6.24) など。 R5.5.15 サントリーキッズガーデンプロジェクトによる市内小学校への花苗配布 R5.8.3 中日ドラゴンズ飛騨市デー及び親子観戦ツアー実施 R5.9.2 名古屋グランパス親子観戦ツアー実施予定 R5.秋 サントリー連携水育授業の実施予定	大学連携による市内フィールドワーク実施 R4年度 全4回 延べ参加学生30人・104泊	○	
66	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	Ⅲ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 関係人口等との交流によるまちづくり	② 連携・提携等による交流の推進	I 市民相互のヒトやモノの交流を促進します。	企画部、商工観光部	地域課題の解消をプログラム化し、市民と市民、市民と外部人材との交流を生み出す仕組み「ヒダスケ」を令和2年度に創設し、これまでにはなかった他地域との新たな交流が生まれるきっかけとなっている。	ヒダスケ参加者数 (延べ人数) R2: 445人 R3: 519人 R4: 812人 R4のうち、 飛騨市民参加者36% 高山市民参加者18% 県内飛騨地域以外参加者12% 県外参加者 34%	○	

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
67	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	Ⅲ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 関係人口等との交流によるまちづくり	③ 移住・定住の促進	Ⅰ 飛騨地域3市1村の連携による飛騨地域のPR活動を強化し、飛騨地域への移住定住を促進します。	企画部	3市1村飛騨地域連携協議会での移住・定住促進連携事業の実施	飛騨地域移住の状況 (R4年度) 飛騨市101人 (対前年△17人) 高山市282人 (対前年△25人) 下呂市 57人 (対前年+27人) 白川村 5人 (対前年±0人)	○	
68	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	Ⅲ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 関係人口等との交流によるまちづくり	③ 移住・定住の促進	Ⅰ 移住者が必要とする住まいや仕事の情報発信を強化するとともに、寄り添った相談支援体制により移住・定住を促進します。	企画部	飛騨市移住サイトのリニューアル (R4年度) 移住コンシェルジュの創設・強化 NPO法人まちづくりスポットへの委託による、移住相談支援センターの創設	移住コンシェルジュ 8人+1団体 移住実績 R2=92世帯 171名 R3=73世帯 118名 R4=63世帯 101名 ※R5.6月末現在 36世帯 82人 移住相談実績 R2=114件 R3=133件 R4=99件 ※R5.6月末現在 19件	○	
69	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	Ⅲ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 関係人口等との交流によるまちづくり	③ 移住・定住の促進	Ⅰ 降雪など飛騨市特有の課題等による移住者の不安解消を支援します。	企画部	移住促進補助メニューの拡充 ・移住検討交通費補助 ・移住検討宿泊費補助 ・ペーパードライバー講習費補助 ・除雪道具購入補助 ・スタッドレスタイヤ購入補助	R4年度補助実績 ・移住検討交通費補助 24名・34件 ・移住検討宿泊費補助 11名・14件 ・ペーパードライバー講習費補助 3件 ・除雪道具購入費補助 11件 ・スタッドレスタイヤ購入補助 8件	○	
70	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	Ⅲ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 関係人口等との交流によるまちづくり	③ 移住・定住の促進	Ⅰ 首都圏等からの移住による地域でのまちおこし活動を支援します。	企画部	地域おこし協力隊による移住及び定住・起業支援	地域おこし協力隊 過去から16名登用、うち8/14現在、10名定住 (現役隊員4名含む) うち、現役隊員含め3名が市内起業 (8/14現在)	○	
71	1. 元気な飛騨市づくり -しごとを守る-	Ⅲ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	○ 関係人口等との交流によるまちづくり	③ 移住・定住の促進	Ⅰ 飛騨市の人材不足を解消するため、国家資格等を持った人材の市外からの移住を促進します。	企画部	飛騨市の移住 (転入) された方にお知らせするスキル (国家資格等) の募集と、各部署で制度所管するUIターン向け補助をまとめたチラシを作成した。 定期的に関係部署を横断した情報共有会議を開催している。	部署横断共有会議 R4年度 2月~2回実施 R5年度 8/14現在1回実施 R5年度チラシの作成、転入時配布開始	○	
72	2. あんきな飛騨市づくり -まちをつくる-	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 必要な医療・介護を受けられる体制づくり	① 医療・介護職等の人材確保や医療機関等の診療体制整備の推進	Ⅰ 飛騨市出身の医療・介護・福祉人材への就職情報の提供を強化するとともに、地域のクリニックを含めた医師・看護師・コメディカル等の人材確保対策を推進します。	市民福祉部、病院事務局	H28年度から実施していく医療・介護・福祉人材への流入策として、人材バンクの創設、専門職情報誌発行、UIターン、住宅家賃補助、看護師修学資金による支援、県への地域医療コース負担金の対応を引き続き実施した。	看護師修学資金貸付者数 R2:4人 R3:4人 R4:5人 地域医療コース負担金人数 R2:1人 R3:2人 R4:3人	○	
73	2. あんきな飛騨市づくり -まちをつくる-	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 必要な医療・介護を受けられる体制づくり	① 医療・介護職等の人材確保や医療機関等の診療体制整備の推進	Ⅰ 飛騨市で働く医療・介護・福祉職の学習環境構築等を推進します。	市民福祉部、病院事務局	医療機関や介護・福祉の事業所が雇用している専門有資格者の学び意欲を支援し、より深い知識や技術を得ることにより、市内事業所がより魅力あるものとなっていくことを目指し、介護職員初任者研修、介護福祉士実務者研修支援、資格更新、キャリアアップ等研修支援、看護師「実習指導者研修受講」の推進などを実施した。	初任者研修受講者 R2:15人 R3:13人 R4:8人 入門的研修受講者 R2:20人 R3:15人 R4:14人 介護福祉士実務者研修支援数 R2:0人 R3:0人 R4:2人	○	

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振り返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
74	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 必要な医療・介護を受けられる体制づくり	① 医療・介護職等の人材確保や医療機関等の診療体制整備の推進	I 外国人やシニア世代の活用を含めた様々な介護人材確保・育成対策や、既に働いている介護職員の負担軽減や仕事への意欲醸成に取り組む事業者を支援します。	市民福祉部、病院事務局	外国人就労者の働きやすく、生活しやすい環境が提供できるよう事業所と共同で外国人介護人材確保対策（技能実習生受入、日本語教育、空き家社宅化、留学生家賃・入学祝金、就職準備支援）のサポートを行い、将来の人材不足に対し、市内各施設で外国人が円滑に登用されていく流れを作った。 また、現場の意見や課題を整理しながら、より効果のある人材確保策を予算の範囲内で柔軟に対応し、シニア介護就職奨励金、キャリアアップ等研修支援を実施した。	R2~外国人介護人材雇用実績 技能実習生：3名 EPA 2名 留学生7名 シニア介護就職奨励金 R2：1人 R3：1人 R4：0人 キャリアアップ等研修支援 R2：1人 R3：6人 R4：6人	○	
75	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 必要な医療・介護を受けられる体制づくり	① 医療・介護職等の人材確保や医療機関等の診療体制整備の推進	I 在宅医療・介護の家族負担を軽減するとともに、提供サービスの充実と地域による生活支援の強化を推進します。	市民福祉部	①在宅医療、介護の選択が可能となるよう、在宅専門のクリニックの誘致及び支援、訪問入浴サービスの充実に取り組んだ。 ②在宅介護の限界点を高め、介護サービス利用者が住み慣れた在宅で生活を続けていくための一助とし、家族介護応援手当の支給を継続した。	①令和4年6月より飛騨地域では初めてとなる在宅専門のクリニックの開所 ②家族介護応援手当の給付 R2：96人 ダブルケア加算4人 R3：103人 ダブルケア加算4人 R4：92人 ダブルケア加算2人	○	
76	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 必要な医療・介護を受けられる体制づくり	① 医療・介護職等の人材確保や医療機関等の診療体制整備の推進	I 大学や専門学校等と連携し、介護職等の育成から市内就職までを支援します。	市民福祉部、病院事務局	サンビレッジ国際医療福祉専門学校（揖斐郡池田町）との人材育成連携協定締結による、市内高校での福祉関連授業、卒業後の市内就職への支援を実施した。	地域若手医療・介護・福祉人材修学支援 R2：4人 R3：3人 R4：3人	○	
77	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 必要な医療・介護を受けられる体制づくり	① 医療・介護職等の人材確保や医療機関等の診療体制整備の推進	I 医療の枠を越え、介護や福祉を含め家族全体を支える看護師の育成を推進します。	市民福祉部、病院事務局	市内医療、福祉機関に従事しようとする看護学生に対し、修学資金の貸与。看護師の就職準備貸付金としてUIターン者への支援を実施した。 J A 岐阜厚生連看護専門学校の運営助成を2市1村で実施した。	R2~R4修学資金貸付人数12人 看護師の就職準備貸付金 R2：3人 R3：3人 R4：2人	○	
78	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 必要な医療・介護を受けられる体制づくり	① 医療・介護職等の人材確保や医療機関等の診療体制整備の推進	I 飛騨市民病院を核として、研修医や看護学生等が地域包括ケアを学ぶ最適な実習フィールドの環境整備と支援体制の構築を推進します。	病院事務局	・オンライン研修等に使用するためのテレビ会議システムと個室ブースを導入した。 ・地域総合診療専門医制度の基幹病院の認定を受け、地域総合診療専門医を目指す最長36ヶ月の専攻医の受入れが可能となった。	令和4年度の研修医等の受入実績 専攻医2人 研修医39名 医学生13名 看護学生4名 リハビリテーション学生4名	○	
79	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 必要な医療・介護を受けられる体制づくり	① 医療・介護職等の人材確保や医療機関等の診療体制整備の推進	I 飛騨市民病院を守り、維持するとともに、持続可能な診療科や病床数等のあり方を検討し経営体制の強化を推進します。	病院事務局	・飛騨市民病院経営強化プランの策定。 ・年間を通じて有限責任監査法人トーマツによる医療分野専門のコンサルティングチームによる経営指導を受けた。	有限責任監査法人トーマツとの会議等 定例管理会議 12回 各部署との面談指導 3ヶ月毎に実施 各部署とのヒアリング 随時	○	持続的な地域医療提供体制を確保するため、飛騨市民病院経営強化プランに基づき、将来的な病院のあり方を検討する。
80	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 必要な医療・介護を受けられる体制づくり	① 医療・介護職等の人材確保や医療機関等の診療体制整備の推進	I 市内医療機関等の診療体制整備や設備投資等を支援します。	市民福祉部	市民が安心して在宅療養できる体制づくりのため診療体制整備のための以下の支援を実施した。 ①在宅療養を続けるためのたん吸引機、ICTツール及び往診車購入などを支援 ②令和4年度より市内における新規開業、既存機関における別の各種サービス等の新規開設又は拡張による既存サービスの拡大にける経費を支援	①在宅療養体制整備推進補助金 R2（2件 775千円） R3（4件 285千円） R4（3件 1,057千円） ②医療・介護・福祉機関等新設・拡張等支援事業 補助対象経費の2分の1の額（上限500万円）とし、3年度にわたり分割して交付するものとする。 R4 4件分 6,126千円	○	

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
81	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 必要な医療・介護を受けられる体制づくり	② 市外医療機関との連携の推進	I 飛騨医療圏の基幹病院である高山赤十字病院と久美愛厚生病院の医師確保や医療機器の整備等を支援します。	市民福祉部	飛騨地域の医療体制の維持のため、医師確保に苦慮している診療科に対し、継続して県や飛騨圏域3市1村で連携して支援を行った。 ①非常勤の産婦人科医、小児科医及び麻酔科医の給与等確保費用を支援 ② 飛騨地域周産期母子医療センター（高山赤十字病院）医師の確保を県と飛騨3市1村で支援 ③がん放射線治療等の提供体制の確保のため、放射線科の常勤医師の確保費用を支援 ④R3脳血管造影エックス線診断装置（高山赤十字）R4脳血管疾患患者用アンギオ更新支援（久美愛厚生）	年間負担額実績 ①市補助金：高山赤十字病院3,080千円、久美愛厚生病院1,920千円 ②当年度の総事業費の1/2を県、1/3の額を各市村の受診割合で按分 市負担2,035千円 ③県と飛騨圏域3市1村で高山赤十字病院による岐阜大学放射線医学寄付講座設置を支援 市負担1,170千円 ④市負担額 高山赤十字 3,721千円 久美愛厚生病院 6,367千円	○	
82	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 必要な医療・介護を受けられる体制づくり	② 市外医療機関との連携の推進	I 富山大学附属病院との連携を強化し、医師等の人材確保や市民の健康づくりに関する取り組みを推進します。	病院事務局 市民福祉部	地域医療を守り育てるため、全国で先駆的な取り組みをしている講師を迎え、健康まちづくりを推進するための講座を開催した。（1年度5回の受講）	コミュニティ・メディカルデザイナー養成講座 終了者数 R2：27人 R3：コロナにより中止（過去の受講者へのフォローアップ研修や、高原郷ケアネットでの富山県内のフレイル予防の取組紹介を実施） R4：21人	○	
83	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 最期まで住み慣れた場所で暮らせる仕組みづくり	① 高齢者の生活支援と見守り体制強化の推進	I 高齢者等の買い物弱者が安心して買い物や語らいができる場づくりと、事業者への支援を推進します。	市民福祉部	移動スーパーを過疎地の買物の基幹として、近隣まで商店に来てもらう買い物付きサロンや出張販売、宅配注文のリスト化、スーパーまで連れて行ってもらうボランティア送迎、サロン主催の買い物バスツアー、公共交通機関の拡充として貨客混載の取組を進めた。	年間活動実績 ・移動販売事業者支援事業 3事業者 ・配達奨励金事業リスト掲載16業者 ・出張販売支援事業リスト掲載4業者 ・地域複合サロン推進事業 5カ所 ・貨客混載毎週木曜日実施地区（濃飛バス神岡営業所～山之村地区）	○	

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
84	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 最期まで住み慣れた場所で暮らせる仕組みづくり	① 高齢者の生活支援と見守り体制強化の推進	I 高齢者の外出支援による健康維持を促進するとともに、除雪やゴミ捨て等の生活に関する困りごとの解消を推進します。	市民福祉部	①70歳以上の高齢者の外出や健康づくりの推進に加え、高齢者が地域で暮らし続けるための生活支援を目的にいきいき地域生活応援事業（・いきいき券コース（関連施設等で利用できる4,500円相当の券交付）・あんきな外出コース（シルバーカート、伸縮ステッキなど外出支援器具購入助成）・いつまでも健康にコース（ウォーキングポール、血圧計など健康増進器具の支給）・バス券コース（濃飛バスで使える4,800円相当の券交付）の4つのコースから希望を一つ選ぶもの）を実施した。 ②地域の元気高齢者をはじめとした余力のある方々に軽度の支援が必要な高齢者等を支える人材として活躍いただけるよう、基準緩和ヘルパー制度のヘルパーや介護支援ボランティア、飛騨市支え合い人材バンクなどへの登録を促し、ゴミ出しなど生活の困りごとに対応する活躍の場へのマッチングを行った。 ③雪下ろし業者の手配から助成金申請手続までを一括して支援する「雪下ろしサポートセンター」を設置しており、高齢者が自宅の雪下ろしの心配をすることなく、安心して暮らしていけるよう支援した。	①いきいき生活応援事業 R2交付対象者：4,700人 R3交付対象者：5,196人 R4交付者数：5,834人 ②令和4年度までで29名が支え合いヘルパーに、20名が介護支援ボランティアに、128名が支え合い人材バンクに登録していただいている。 ③令和4年度までの雪下ろしサポートセンター登録世帯数：181世帯 雪下ろし作業代行事業者リスト登録事業者：16件	○	
85	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 最期まで住み慣れた場所で暮らせる仕組みづくり	① 高齢者の生活支援と見守り体制強化の推進	I 地域見守り支援員による高齢者の見守り体制強化と、認知症に対する市民への普及啓発を推進します。	市民福祉部	①平成29年度より「地域見守り相談員」を新たに配置し、日々地道に市内の高齢者宅を訪問しており、市施策に関する紹介や申請手続きの補助、困りごと相談など日常生活支援の対応のほか、災害時要支援者の個別支援プラン作成支援や懸案事項については必要な機関へ繋ぐなど個別の対応をとっている。 ②認知症サポーター養成講座の開催、市内事業所に参加による見守りネットワーク事業所の登録をはじめ、古川、神岡地区に民間の相談窓口を開設、また河合・宮川地区にも出張相談窓口を開設した。もの忘れ相談とともにコグエボ（脳トレ）を実施することで、受診や家族の対応等指導につながった。	①地域見守り相談員：会計年度任用職員3名配置 年間訪問相談件数約750件 ②令和4年度までの認知症サポーター1,832名、見守りネットワーク事業所48事業所 R3から古川地区に民間の相談窓口「オレンジの森」を開設 R4は2か所目となる神岡地区に民間の相談窓口「なないろ」を開設。	○	
86	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 最期まで住み慣れた場所で暮らせる仕組みづくり	① 高齢者の生活支援と見守り体制強化の推進	I 高齢者が安心して暮らせる拠点の整備を推進します。	市民福祉部	令和元年度中に老朽化していた市が設置する養護老人ホーム和光園の新築工事が完了し、令和2年4月1日から新施設による入所措置が開始された。入所者の環境改善、施設職員の利便性向上等が図った。	養護老人ホーム和光園（飛騨市） 指定管理者：社会福祉法人吉城福祉会 入所者数：50名	○	

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
87	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる-	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 最期まで住み慣れた場所で暮らせる仕組みづくり	② 残された遺族を支える終活支援体制強化の推進	I 遺族に寄り添った支援体制を整備するとともに、生前にできる様々な終活の市民周知を推進します。	市民福祉部	大切な家族を亡くされた市民に寄り添った様々な支援と生前からの終活を支援するための「飛騨市終活支援センター」を令和元年10月1日に設置。終活アドバイザーが相談者の心に寄り添いながら、葬儀やお墓、相続、遺言、後見人制度、遺品処分などの個別相談に応じるほか、終活セミナー等を企画し、終活に関する様々な啓発や終活ガイドブック、エンディングノート、私の心づもり（ACP）など終活をスムーズに進めていくための独自の冊子を作成し、配布した。	終活支援センター委託先：飛騨市社会福祉協議会 R2相談件数:48件（うち、遺族支援13件 本人支援35件） R3相談件数:46件（うち、遺族支援12件 本人支援34件） R4相談件数:52件（うち、遺族支援11件 本人支援41件）	○	
88	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる-	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 最期まで住み慣れた場所で暮らせる仕組みづくり	② 残された遺族を支える終活支援体制強化の推進	I 犯罪や交通事故等で突然亡くなられた方の遺族に寄り添い、様々な支援体制の構築を推進します。	市民福祉部	R2.4月に「飛騨市犯罪被害者等支援条例」を制定し、「犯罪被害者等基本法」に基づき、相談支援、給付金支給、保健福祉サービスの提供、安全・住居確保支援等を実施する体制を整えた。	犯罪被害者相談対応支援 R2：0件 R3：1件 R4：0件 犯罪被害者等見舞金支給 R2：0件 R3：0件 R4：0件	○	
89	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる-	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 最期まで住み慣れた場所で暮らせる仕組みづくり	② 残された遺族を支える終活支援体制強化の推進	I 個人墓地等の維持管理等について現状の把握を行い、安心して最期まで暮らすことができる環境整備を推進します。	環境水道部	身寄りがいない方や市営墓地内の継承が出来ない墓の遺骨などを収める合葬式墓を令和4年度に整備した。また、墓地に対する意識や、合葬式墓地や納骨堂といった形式の遺骨の収蔵方法についての需要などを把握するため、市営上気多墓地の利用者に対しアンケート調査を実施した（調査票送付数505件に対し回収数は375通、回答率は74%）。		○	
90	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる-	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 弱い立場の方も一人ひとりありのままの自分を大事にされる環境づくり	① 障がいのある方の生活環境整備と雇用拡大の推進	I 障がいのある方が安心して日中過ごすことができる拠点等の整備を推進するとともに、民間事業者によるサービス等の拡大を促進します。	市民福祉部	R2年に児の放課後等デイサービスが神岡と古川で民間が開設(市で支援)。多機能型の日中の障害福祉サービス事業所の開設(市指定管理)。R3とR4に介護事業所に障がいとの共生サービス指定2カ	児の施設 2カ所新設 者の施設 多機能施設を2施設新設	○	
91	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる-	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 弱い立場の方も一人ひとりありのままの自分を大事にされる環境づくり	① 障がいのある方の生活環境整備と雇用拡大の推進	I 障がいのある方が一人でも安心して生涯暮らすことができる拠点の整備やサービスの拡充を推進します。	市民福祉部	R3に民間で市内初の障がい者グループホーム開設、R4さらに1棟増設。R5に市で障がい者グループを核にした多機能型地域生活支援拠点となる施設を開所	障がい者グループホーム受入基盤 市内受入総入居床数 R2：0床、 R3:4床、R4：8床、R5：20床	○	
92	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる-	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 弱い立場の方も一人ひとりありのままの自分を大事にされる環境づくり	① 障がいのある方の生活環境整備と雇用拡大の推進	I 飛騨市こどものこころクリニックを核として、発達支援センターや学校、事業者等との連携により、早期の治療と家族全体を支える体制の構築を推進します。	市民福祉部	児童の発達相談では専門的なアセスメント・見立てを行い、家族の思いを聞いたり環境調整を行う他に、必要に応じて適切な医療や療育への繋ぎを行い、繋ぎ先の機関と連携する体制を確立した。	児の発達相談件数 R2：186件 (内こころクリニックへ12件) R3：277件 (内こころクリニックへ12件) R4：219件 (内こころクリニックへ18件)	○	医療や療育に早期に繋がった為、児童発達支援や放課後等デイサービス、保育所等訪問事業の利用者が多くなり、空き待ち状態が発生することがある。支援級や通級への希望も増え、支援者が足りないため、セルフケアにも力を入れる必要がある。
93	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる-	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 弱い立場の方も一人ひとりありのままの自分を大事にされる環境づくり	① 障がいのある方の生活環境整備と雇用拡大の推進	I 障がいのある方の社会参画や就労を促進するとともに、受け入れる事業所等の拡大を促進します。	市民福祉部	障がい者就労支援施設応援企業制度をR1年度に創設。障がい者就労支援施設で作成した物品を購入したり、業務を委託したりした企業を奨励する。R4年度に制度の拡充を図り、障がい者就労施設からの物品購入や委託業務の理解を広めることができた。	障がい者就労支援施設応援企業数 R2：6社 R3：5社 R4：15社	○	

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振り返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
94	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる-	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 弱い立場の方も一人ひとりありのままの自分を大事にされる環境づくり	① 障がいのある方の生活環境整備と雇用拡大の推進	I 様々な障がいを市民が理解し、地域全体で見守る環境づくりを推進します。	市民福祉部	障がい理解を目的とする「しりーず」研修を年2～3回、ウェルビーイングフォーラムを年1回のペースで開催し、市民への障がい理解の普及に努めた。	R2: しりーず研修3回 延べ180名参加 R3: しりーず研修2回 延べ39名参加 R4: しりーず研修2回 延べ48名参加 (R3,R4はコロナ禍により縮小)	○	
95	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる-	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 弱い立場の方も一人ひとりありのままの自分を大事にされる環境づくり	① 障がいのある方の生活環境整備と雇用拡大の推進	I 様々な重度の障がいがある方の就労支援体制の研究を進め、支援体制のノウハウ蓄積と市内事業者等への横展開を促進します。	市民福祉部	事業者の対象者に対する支援の計画を作成してもらい、医療的ケアの必要な重度障害者の方に就労の機会を作ることができた。	重度心身障がい者の一般就職数 R4～: 1名	○	
96	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる-	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 弱い立場の方も一人ひとりありのままの自分を大事にされる環境づくり	② 弱い立場の方や暮らしに困難を抱える方への支援の拡大	I 医療関係者や支援事業者等との連携により、閉じこもりの方たちの心のサポート強化を推進します。	市民福祉部	相談支援では作業療法士による見立てのもとで適切な介入支援を実施。また、地域支援会議ではケース検討会や研修を実施し支援者の支援スキルや連携の幅を広げた。	地域支援会議延べ参加者数 R2:27名、R3:151名、R4:34名	○	
97	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる-	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 弱い立場の方も一人ひとりありのままの自分を大事にされる環境づくり	② 弱い立場の方や暮らしに困難を抱える方への支援の拡大	I 閉じこもりなどの方たちが相談しやすい体制を構築するとともに、居場所づくりを推進します。	市民福祉部	ふりーすペースの設置・拡充の展開を図った。 常設の居場所を市民団体や事業者に委託して新設、相談者に紹介した。	R2: 6カ所設置 延べ115名参加 R3: 3カ所設置 延べ85名参加 R4: 3カ所設置 延べ132名参加 R5: 常設の居場所2カ所の新開設	○	
98	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる-	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 弱い立場の方も一人ひとりありのままの自分を大事にされる環境づくり	② 弱い立場の方や暮らしに困難を抱える方への支援の拡大	I 閉じこもりなどの方たちの就労まで寄り添ったサポートにより、生活の自立を支援します。	市民福祉部	就労準備訓練委託事業者と連携し、就労の目標にその前段の生活リズムや対人対応のスキルを得ることなど地道な伴走支援を行った。	就労準備訓練事業所いくばでの利用人数 R2:8人、R3:10人、R4:7人	○	
99	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる-	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 弱い立場の方も一人ひとりありのままの自分を大事にされる環境づくり	② 弱い立場の方や暮らしに困難を抱える方への支援の拡大	I 子どもの不登校を未然に防ぐため、学力不振な児童生徒をサポートする体制の構築と、保育園・小学校・中学校の各段階にスムーズに進学できる支援体制づくりを推進します。	教育委員会事務局	不登校児童生徒等の学習を支援するスタディサポーターを配置した。また、保小中連携教育推進委員会を年2回、保小中連携教育合同研修会を毎年開催した。	スタディサポーター配置数 R2: 3人 R3: 5人 R4: 3人	○	
100	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる-	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 弱い立場の方も一人ひとりありのままの自分を大事にされる環境づくり	② 弱い立場の方や暮らしに困難を抱える方への支援の拡大	I 不登校児等が安心して勉強できる環境整備と、専門職員による心と勉強の両面からのサポートを推進します。	教育委員会事務局	古川町にある教育相談室（グリーンルーム）で親と子の相談員やスタディサポーターによる心と学習の両面からの支援を行った。令和4年には神岡町にも開設した。	グリーンルーム利用者数 R2: 7人 R3: 7人 R4: 8人	○	
101	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる-	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 弱い立場の方も一人ひとりありのままの自分を大事にされる環境づくり	② 弱い立場の方や暮らしに困難を抱える方への支援の拡大	I ひとり親家庭が抱える様々な困りごとの実態を把握し、生活や就労を支援します。	市民福祉部	令和3年度にひとり親に対するアンケートを実施しながら、令和4年度には新規事業として「宅配弁当購入助成事業」や「日常生活支援事業」を行い、ひとり親に対するレスパイト・セーフティーネットとして取り組んだ。 また、ひとり親家庭の就労を支援するために、教育訓練等に対する給付金事業等を行った。	・宅配弁当購入助成券交付 R4:38世帯 108名 ・日常生活支援事業利用 R4:0件 自立支援教育訓練給付金交付 R2:1件 高等訓練促進給付金交付 R3:1件 R4:1件	○	
102	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる-	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 弱い立場の方も一人ひとりありのままの自分を大事にされる環境づくり	② 弱い立場の方や暮らしに困難を抱える方への支援の拡大	I 誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現のため、生きることを包括的に支援する体制づくりを推進します。	市民福祉部	各種自殺対策会議を開催し、こころの相談室やゲートキーパー養成講座を行った。また、自殺予防キャンペーンを市内の高校にて行った。各種相談窓口一覧でわかるようなリーフレットを作成して配布した。	R2: ゲートキーパー研修2回相談10件 高校生2回 R3: ゲートキーパー研修3回相談9件 高校生0回 R4: ゲートキーパー研修2回相談4件 高校生2回	○	

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
103	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 安心して暮らせる公共サービスづくり	① 暮らしに必要な公共サービスの維持と人材確保の推進 (全体)	I 安定的な公共サービスの維持のため、飛騨市職員数の適正管理と計画的な人材確保を推進します。	総務部	第3次定員適正化計画 (R2.4~R7.3) ・退職者数と再任用希望者数の状況に応じた職員採用を基本とし、職員数が過多となることを防止。職員数が少ない年代の人員確保のため、新卒採用と併せて、社会人経験者採用を行った。	・R2計画475 (15) 実績470 (16) ・R3計画478 (24) 実績460 (18) ・R4計画476 (26) 実績475 (17) ・R5計画478 (35) 実績478 (23) ・R6計画477 (37) 未定 ※ ( ) 数値は内数で再任用職員を表す。	△	R5より段階的に定年延長が開始され、退職者補充原則での採用計画では益々歪な年齢構成となることから、延長中においても一定数の採用を行う必要がある。総務省の「定年引上げに伴う地方公共団体の定員管理のあり方に関する研究会」による職員平準化のモデルケースによる試算を基に、定年退職者が少ない今後10年間は毎年3人ずつ確保するなど、計画的な人員確保に努める必要がある。上記を踏まえて、R7.4に第4次定員適正化計画を策定する予定である。
104	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 安心して暮らせる公共サービスづくり	① 暮らしに必要な公共サービスの維持と人材確保の推進 (全体)	I Society5.0の具現化に向け、全ての分野におけるIoT、5G、ロボットなどの活用と市民が活用しやすい環境整備を推進します。	企画部、総務部	コロナ禍以降、電子地域通貨さるぼぼコインを、行政サービスのあらゆる場面での活用を図っている。 R4.9月内閣府の「夏のDigi田甲子園」の市の実装部門で準優勝を受賞 伴って、電子地域通貨活用に関する視察や講演依頼が多数	R4年度視察、取材対応 13件 R5年度視察、取材、講演依頼 8/14現在 7件 10/13視察受入予定	○	
105	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 安心して暮らせる公共サービスづくり	① 暮らしに必要な公共サービスの維持と人材確保の推進 (道路)	I 地域を繋ぐ道路ネットワークを確保するため、道路の改良や補修、交通安全対策を進め、地域間の交流や産業の振興を推進します。	基盤整備部	補助事業などを活用し、道路改良や補修、交通安全対策を実施した。	道路改良・補修、交通安全対策事業費 R2: 477,000千円 R3: 392,000千円 R4: 361,000千円	○	
106	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 安心して暮らせる公共サービスづくり	① 暮らしに必要な公共サービスの維持と人材確保の推進 (道路)	I 市道跡津川線の改良により安全性を高め、宇宙物理学研究の環境向上を推進します。	基盤整備部	令和2年度から地方創生道整備推進交付金により、市道跡津川線道路改良事業を県代行事業で実施した。(継続中)	市道跡津川線道路改良事業費 R2: 172,000千円 R3: 250,000千円 R4: 256,000千円	○	
107	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 安心して暮らせる公共サービスづくり	① 暮らしに必要な公共サービスの維持と人材確保の推進 (道路)	I 定期的な点検と補修により橋梁・トンネルなど道路施設の長寿命化を推進します。	基盤整備部	2巡目の定期点検を実施するとともに点検結果により補修工事を行い長寿命化を図った。	市道橋点検数と補修数 R2: 点検81橋、補修4橋 R3: 点検79橋、補修3橋 R4: 点検26橋、補修4橋	○	
108	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 安心して暮らせる公共サービスづくり	① 暮らしに必要な公共サービスの維持と人材確保の推進 (道路)	I 道路の安全性を高めるため、幹線道路等の橋梁耐震化や斜面对策等を推進します。	基盤整備部	令和4年度から橋梁耐震化事業に着手し、2橋について耐震化設計を実施した。また、道路法面の崩壊対策や落石対策工事を実施した。	橋梁耐震化設計 R4: 古川町1橋、神岡町1橋 道路法面对策事業 R2: 3箇所 R3: 3箇所 R4: 3箇所	○	
109	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 安心して暮らせる公共サービスづくり	① 暮らしに必要な公共サービスの維持と人材確保の推進 (道路)	I 経済団体や飛騨地域3市1村で連携し、国道41号、360号、471号のほか、県道等にかかる整備促進について国県への要望活動を推進します。	基盤整備部	令和4年度実績として、県庁・中部地方整備局・国土交通省・財務省・国会議員への要望活動を年間を通して河川砂防事業と合わせて実施した (142列と重複)	17回実施	○	

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
110	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 安心して暮らせる公共サービスづくり	① 暮らしに必要な公共サービスの維持と人材確保の推進 (道路)	I 積雪時の安全な道路通行を確保するため、除雪作業に使用する除雪機械の計画的な整備・更新と消雪設備の適正な運用を推進します。	基盤整備部	令和4年度より、神岡町市街地において、既存井戸の余剰水を利用した散水消雪設備の整備事業に着手した。	散水消雪設備整備 R4: 概略設計L=4,065m	○	
111	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 安心して暮らせる公共サービスづくり	① 暮らしに必要な公共サービスの維持と人材確保の推進 (道路)	I 道路ネットワークを補完する農林道の整備や定期的な点検、補修等を推進します。	基盤整備部	補助事業などを活用し、農林道整備や補修を実施した。	R2~4 農道整備 4 路線 R2~4 林道整備 7 路線 林道補修事業費 R2: 7,945千円 R3: 7,683千円 R4: 6,915千円	○	
112	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 安心して暮らせる公共サービスづくり	① 暮らしに必要な公共サービスの維持と人材確保の推進 (上下水道)	I 上下水道設備の健全な維持と耐震化等により安心安全な水を各家庭に供給できるよう計画的な整備を推進します。	環境水道部	飛騨市水道事業経営戦略に基づき、老朽化した施設・管路の更新を行うとともに、給水人口の多い地区を優先して、水道施設の耐震化(高野配水池更新事業、梨ヶ根浄水場耐震化事業)に取り組んだ。また、持続可能な水道経営のため必要となる財源を確保するため料金改定を行った。 ○高野配水池 R3:実施設計 R4:用地取得・敷地造成、送配水管整備 R5:送配水管整備 ○梨ヶ根浄水場 R3~4:実施設計	更新管路延長 R2:1,183m R3:1,007m R4: 437m 料金改定 R4~5	○	飛騨市水道事業経営戦略の進捗管理を毎年行うことで経営状況を確認し、計画に基づく整備を的確に実施していく。更新費用の削減、施設管理の効率化を図るために施設統合できるものは統合することで安定した経営の継続に努める。引き続き、施行中の耐震化(高野配水池更新事業、梨ヶ根浄水場耐震化事業)を進める。
113	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 安心して暮らせる公共サービスづくり	① 暮らしに必要な公共サービスの維持と人材確保の推進 (上下水道)	I 下水道設備の健全な維持と耐震化等による安定的な汚水処理環境の整備を推進します。	環境水道部	飛騨市総合地震対策計画に基づき、古川浄化センターの未耐震部・重要幹線等の耐震化及び避難所開設時のトイレ不足解消を目的にマンホールトイレシステムも整備した。 また、飛騨市下水道ストックマネジメント計画に基づいた事業の進捗を図り、重要なライフラインである下水道処理施設の効率的な設備の点検、修繕、更新等を進めることで、長期に渡り健全な施設運用を可能とした。	総合地震対策計画 (R5未までに) ①処理施設の耐震機能確保率100% ②重要幹線等の耐震化率100% ③マンホールトイレシステム整備率100% ストックマネジメント計画 (R5未までに) 施設更新の進捗率100%	○	人口減少等による処理量の減少に伴い、効率的な施設運営のため施設統合の検討を進めていく。
114	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 安心して暮らせる公共サービスづくり	① 暮らしに必要な公共サービスの維持と人材確保の推進 (上下水道)	I 市民への上下水道利用に関する様々な啓発や情報発信を推進します。	環境水道部	下水道の日 (9月10日) に合わせ、広報誌にて下水道接続や利用についてのお願いを周知した。また、合併処理浄化槽設置補助制度拡充については、対象地区に回覧文書にて周知した。 冬季における上水道の凍結防止について広報誌により周知、また寒波による凍結が予測される際には同報無線による注意喚起も行った。	下水道接続件数 R2:78件 R3:99件 R4:56件 合併処理浄化槽設置補助 R2:1件 R3:3件 R4:3件	○	

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
115	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 安心して暮らせる公共サービスづくり	① 暮らしに必要な公共サービスの維持と人材確保の推進 (ごみ・し尿処理)	I <b>ごみ処理施設やし尿処理施設も含めた将来の人口規模に沿った処理施設等の統廃合を検討し、安定的な汚水処理環境の整備を推進します。</b>	環境水道部	し尿処理施設統合 (北吉城中継化) 事業実施 R2計画設計、R3工事 (R4へ一部繰越)	・R4.4統合処理 (中継化) 開始、みずほCCの処理能力 (40kl/日) の範囲で適正処理を実施。 <R4処理実績> 12,138kl/年÷365日 = 33.25kl/日 <経済効果> ・維持管理費 約1千万円/年の削減 ・北吉城の処理継続に必要な大規模改修費、約8億円の削減	○	
116	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 安心して暮らせる公共サービスづくり	① 暮らしに必要な公共サービスの維持と人材確保の推進 (公共交通)	I <b>通学、通院、買い物、入浴等の外出などの支援に重点を置きつつ、企業等と連携し、市民のニーズの把握による路線の新設や廃止等も踏まえた公共交通サービスの提供を推進します。</b>	総務部	各路線の沿線地域や利用者との意見交換を重ね、R2.10河合町にて予約制乗合タクシーの導入し、R5.10神岡町にて市街地をお出かけしやすい公共交通網を整備した。	R2.10 稲越乗合タクシー新設 R3.10 ひだまる神原線新設 R5.10 神岡町内市営5路線の見直し かみおか循環:7便→11便 4便増便 殿循環線新設	△	各年度毎に重点地域を定め、積極的に利用者や地域住民との意見交換会を実施し、公共交通網の再編を図る。
117	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 安心して暮らせる公共サービスづくり	① 暮らしに必要な公共サービスの維持と人材確保の推進 (公共交通)	I <b>市民・地域・事業者等との連携による新たな公共交通の仕組みづくりを推進します。</b>	総務部	R4.1に名古屋大学と地域公共交通に係る連携協定を締結し、市内各地域において公共交通の在り方を一から見直すため、名古屋大学との連携事業を実施。その一環として各地域公共交通に対するセミナー開催するなど地域住民の意識醸成を行った。	R4.4~12 山之日地区、麻生野地区、吉田地区、飛騨市シニアクラブ女性会住民懇談会の実施 R5.2 飛騨市地域公共交通タウンミーティング開催 (計70名の参加) R5.8 宮川町高齢者サロンでの意見交換会 R5.9 神岡町公共交通セミナーの開催	△	近年は神岡町を中心に路線再編を実施しており、他地域においても同様に意見交換会やセミナー等を実施する。同大学との連携事業も継続して実施する。
118	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 安心して暮らせる公共サービスづくり	① 暮らしに必要な公共サービスの維持と人材確保の推進 (公共交通)	I <b>経済団体や飛騨地域3市1村で連携し、市民の利便性向上のための国・JR等への要望活動を推進します。</b>	総務部	高山本線強化促進同盟会、鉄道問題研究会を通じて、JR東海に対し、要望活動を実施した。	要望活動 高山本線強化促進同盟会 (毎年2月) 鉄道問題研究会 (毎年2月)	○	
119	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 安心して暮らせる公共サービスづくり	① 暮らしに必要な公共サービスの維持と人材確保の推進 (情報インフラ)	I <b>ケーブルテレビやインターネットなど情報インフラの環境整備を推進するとともに、持続可能なサービスのあり方と安定供給手法の検討を推進します。</b>	総務部	令和2年度から4年度にかけてケーブルテレビ再整備事業により民間移譲を実施し、市直営より安定的で高付加価値のインターネットサービス提供を図ることができた。	契約移行者数 令和3年度365件 令和4年度1641件 (完了)	○	
120	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 安心して暮らせる公共サービスづくり	① 暮らしに必要な公共サービスの維持と人材確保の推進 (救急・消防)	I <b>女性や高齢者などが活躍できる環境整備や、消防操法大会のあり方を検討し、持続可能な消防団体制の整備を支援するとともに、飛騨市消防本部との連携強化を推進します。</b>	消防本部	令和3年度古川消防署西側を舗装整備し、消防団の訓練環境を整備。 令和4年度古川消防署に女性消防職員専用仮眠室・浴室を整備。 操法は令和4年に要領が見直され消火技術と無関係な動作を省略。県操法大会要領に沿った市操法大会は、令和5年度の大会をもって最後となり、令和6年度からは実践的な消火技術の習得を目的とした講習会に変更する。	古川消防署にて古川方面隊各分団の放水訓練を実施 (年6回) し、消防職員が指導にあたった。また、救助資機材取扱い訓練・防災訓練に毎年使用。 消防操法大会に関する実績等は引続き検証する。 【消防団員数】R2:849名、R3:831名、R4:808名、R5:794名 (△55名) 令和4年女性消防職員を1名採用	○	
121	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 安心して暮らせる公共サービスづくり	① 暮らしに必要な公共サービスの維持と人材確保の推進 (救急・消防)	I <b>誰もが安心して暮らせる救急・消防体制の維持と、人材確保を推進します。</b>	消防本部	高規格救急車を更新最新機器の整備を実施 (R4) また、新たな救急救命士及び新処置・薬剤投与救命士を養成し、救急体制を強化した。	高規格救急車更新: 32,711千円 救急救命士養成1名: 全体26名 新処置救命士養成1名: 全体18名 薬剤投与救命士養成1名: 全体20名	○	

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
122	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 安心して暮らせる公共サービスづくり	① 暮らしに必要な公共サービスの維持と人材確保の推進 (広報・広聴)	I 飛騨市CATVや広報誌、SNS等を活用し、市政の情報等を市民へ的確に提供するとともに、内容の充実を推進します。	企画部	コロナに関する市民への注意喚起、正確な情報発信を含め、様々な場面でウェブサイトやSNSのほか、紙媒体や同報無線など、あらゆる媒体を活用して情報発信を行っている。	R4年度ホームページデザインリニューアル コロナ禍の広報ひだ号外発行 5回 SNSツール ラインフォロワー数 R4末 4,418人 フェイスブックフォロワー数 R4末 3,008人 インスタフォロワー数 R4末 2,502人 メール登録者 2,382人	○	
123	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 安心して暮らせる公共サービスづくり	② 安心して暮らせる環境整備の推進	I 高齢者や障がいのある方が安心して利用できるよう、都市公園等を含めた公共施設等のトイレの洋式化とベビーベッド等の設置を推進するとともに、各地区が所有する公民館や公園のトイレ等の洋式化を支援します。	基盤整備部	誰にでも優しい公園づくりを令和元年度より継続実施。(バリアフリートイレ、便器の洋式化、ベビーシート、歩きやすい園路、思いやり駐車場)	R2 多機能トイレ (坂巻) R3 多機能トイレ等 (千代の松原) 園路、思いやり駐車場 (坂巻) R4 トイレ洋式化 (末広) インクルーシブ遊具 (杉崎他)	○	
124	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	I 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	○ 安心して暮らせる公共サービスづくり	② 安心して暮らせる環境整備の推進	I 市民の良好な住環境の整備を支援するとともに、空き家の流動化による利活用を促進します。	基盤整備部、企画部	市内不動産事業者との連携のもと、空き家バンク「住むとこネット」の運用と併せ、空き家流動化の補助制度の組み合わせで空き家流動化が図られている。 R3年度には、これらの取組が住環境等の向上に顕著な功績があったとして、住生活月間功労者国土交通大臣表彰を受賞した。 R5年度より、物価高騰や空き家賃貸の需要増に対応するため、空き家流動化改修補助の拡充 (補助上限のアップ) を行った。	空き家バンク「住むとこネット」 R4年度末現在 賃貸物件5件、売買物件41件登録 R4年度単年 44件成約 (※H27からの成約累計 213件) 空き家流動化補助実績 R2 = 5件、R3 = 4件、R4 = 1件 R5 = 3~4件の見込み	○	
125	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	II お互いを家族のように思い、支えあえるまち	○ みんなで支えあうコミュニティと防災体制づくり	① コミュニティの強化と持続可能な体制整備の推進	I 自治会組織の持続可能な体制整備を支援します。	総務部	行政区や自治会等が催す諸活動を推進し地域コミュニティの振興を図ることを目的としてR5年度より自治会等活動保険加入補助金を創設した	補助金交付実績 (R5.7末時点) 146千円 (15団体)	○	令和5年度の補助申請状況を分析し、申請の無かった行政区に対して、あらためて保険加入による地域活動の充実を周知依頼する
126	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	II お互いを家族のように思い、支えあえるまち	○ みんなで支えあうコミュニティと防災体制づくり	① コミュニティの強化と持続可能な体制整備の推進	I 各地域のコミュニティ活動を促進するとともに、地区が管理する集会所等の維持改修を支援します。	教育委員会事務局	集落有施設整備事業補助制度を拡充しながら支援を実施。	補助金申請数 R2 : 5団体 (3,952千円) R3 : 11団体 (44,901千円) R4 : 16団体 (8,394千円)	○	
127	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	II お互いを家族のように思い、支えあえるまち	○ みんなで支えあうコミュニティと防災体制づくり	① コミュニティの強化と持続可能な体制整備の推進	I 各地域での見守り体制を強化するとともに、災害時等の避難体制の構築を促進します。	総務部	各振興事務所、市民福祉部、社会福祉協議会、区長会、児童・民生委員、防災士会と連携して、要介護者等の災害時個別支援計画を作成するとともに、研修会等を各町年度内2回を基準として実施	・見守り研修会 各町名年度2回実施 ・要介護者等の災害時個別避難計画作成 名簿登載同意者649名中603名分作成 (進捗率93%)	○	
128	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	II お互いを家族のように思い、支えあえるまち	○ みんなで支えあうコミュニティと防災体制づくり	① コミュニティの強化と持続可能な体制整備の推進	I 地域の防犯に対する意識啓発を推進するとともに、設備等の設置により地域の防犯力強化を促進します。	総務部	飛騨地区防犯協会と連携して、防犯活動を実施するとともに、警察及び関係自治会等と協議して、防犯カメラを市内の16ヶ所に18台設置した。	・小学校新入生、中学・高校1年生女生徒全員に、教育委員会を通じて防犯ブザーを配布 ・防犯カメラの設置 16ヶ所に18台 令和4年度末合計	○	防犯カメラの設置及び助成事業は、引き続き警察及び自治会等と協議して継続

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振り返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
129	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	II お互いを家族のように思い、支えあえるまち	○ みんなで支えあうコミュニティと防災体制づくり	② 地域防災力強化の推進	I 防災士の育成と専門講習によるフォローアップ体制を構築するとともに、市民への防災意識の啓発を推進します。	総務部	災害時に、公的機関と連携して、自助・共助の分野で活躍できる防災リーダーを育成した。 また、防災士会会則変更と、組織改編を援助し、事業部による自主的フォローアップ体制の構築を援助した。 更に、防災士による小中高等学校での防災授業、防災講話、自主防災組織での防災訓練参加等により、防災意識向上を援助した。 加えて、防災ハンドブック及び洪水・土砂災害ハザードマップを作成して、市内全世帯に配布して、防災意識向上を図った。	・防災リーダー養成 R2 59名、R3 56名、R4 39名養成 ・防災士会会則変更・組織改編 令和4年度 ・小中高等学校での防災授業 市内各学校で毎年1～2回ずつ実施 ・防災ハンドブック市内全世帯配布 ・洪水・土砂災害ハザードマップ 関係世帯すべてに配布	○	引き続き、防災リーダー養成講座受講者数の拡大を目指す。最終目標として、各行政区に2～3名の防災士が在籍し、区長等を補佐する防災アドバイザーとして配置できるようにしたい。
130	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	II お互いを家族のように思い、支えあえるまち	○ みんなで支えあうコミュニティと防災体制づくり	② 地域防災力強化の推進	I 市民や企業、団体等と連携した避難所運営体制の構築を推進します。	総務部	防災士会と連携して、地域防災リーダーを養成するとともに、避難所運営協力防災士制度を創設して、災害時に避難所の開設運営に協力いただける防災士を育成した。	・避難所運営協力防災士制度の創設 令和5年度 ・避難所運営協力防災士訓練及び同防災士の登録 令和5年度46名 ・上記登録防災士の市防災訓練時の開設運営訓練協力者 令和5年度21名	○	・地域防災リーダー受講者数の拡大 ・避難所運営協力防災士の登録者数拡大
131	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	II お互いを家族のように思い、支えあえるまち	○ みんなで支えあうコミュニティと防災体制づくり	② 地域防災力強化の推進	I 基本的な防災備蓄品の計画的な配備にあわせ、乳児や障がいのある方など各分野に必要な備蓄品の配備を推進します。	総務部	・市指定避難所用のマンホールトイレ及び保管庫を整備するとともに、福祉避難所における粉ミルク、おかゆ等の備蓄品を整備した。	・マンホールトイレ12基整備 R4年度 ・福祉避難所用防災備蓄品整備（職員・入院者用3日分の粉ミルク、おかゆ、アルファ米、水等）令和2年度以降毎年更新	○	・マンホールトイレに関しては、令和6年度末までに24基設置予定 ・福祉避難所における粉ミルク、おかゆ等の備蓄品の更新を引き続き実施
132	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	II お互いを家族のように思い、支えあえるまち	○ みんなで支えあうコミュニティと防災体制づくり	② 地域防災力強化の推進	I 介護施設や医療機関等の福祉避難所体制の強化と備蓄品等の配備を促進します。	総務部	介護施設、医療施設の避難確保計画作成・提出について説明し、全ての施設において作成・提出を受けた。 また、福祉避難所における粉ミルク、おかゆ等の備蓄品を整備した。	・避難確保計画の作成・提出 令和4年度全40施設完了 ・福祉避難所用防災備蓄品整備（職員・入院者用3日分の粉ミルク、おかゆ、アルファ米、水等）令和2年度以降毎年更新	○	福祉避難所における粉ミルク、おかゆ等の備蓄品の更新を引き続き実施
133	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	II お互いを家族のように思い、支えあえるまち	○ みんなで支えあうコミュニティと防災体制づくり	② 地域防災力強化の推進	I 被災時の市役所や各振興事務所の事業継続体制の強化を推進するとともに、飛騨市社会福祉協議会等と連携し、外部からの受援体制整備を推進します。	総務部	市役所のBCP計画に基づく、市長不在時の職務代行順位の作成、防災食料、毛布等の防災備蓄品の整備をした。 また、災害時受援計画を作成するとともに、社会福祉協議会と連携して災害時ボランティアセンター設置について協定を締結した。	・市町職務代行順位 毎年作成 ・防災食料・毛布・飲用水確保 平成31年度整備、令和5年度更新 ・社会福祉協議会との災害時ボランティアセンター設置協定締結 R3年5月	○	
134	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	II お互いを家族のように思い、支えあえるまち	○ みんなで支えあうコミュニティと防災体制づくり	② 地域防災力強化の推進	I 災害・被災・避難等の情報をあらゆる媒体を活用し市民へ迅速に伝達するとともに、新たな伝達手法の検討を推進します。	総務部	災害情報等について、発生の都度、市公式HP、メール、各種SNS、市防災無線により市民に速やかに情報伝達した。 また、令和4年度に防災行政無線のデジタル化構想検討を行い、新たな防災情報提供手段の検討を行った。	R2 防災情報伝達 13回 R3 防災情報伝達 20回 R4 防災情報伝達 15回 防災行政無線デジタル化構想作成	○	防災行政無線のデジタル化事業を推進する。
135	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	II お互いを家族のように思い、支えあえるまち	○ みんなで支えあうコミュニティと防災体制づくり	② 地域防災力強化の推進	I 被災時や救急時の支援活動等を行える環境の整備と人材育成を推進します。	総務部	災害時に、公的機関と連携して、自助・共助の分野で活躍できる防災リーダーを育成した。この際、消防本部による普通救命講習を行い、救命活動への参加可能者拡大を図った。	R2 59名養成 R3 56名養成 R4 39名養成	○	引き続き、受講者数の拡大を目指す。最終目標として、各行政区に2～3名の防災士が在籍し、区長等を補佐する防災アドバイザーとして配置できるようにしたい。

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振り返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
136	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる-	II お互いを家族のように思い、支えあえるまち	○ みんなで支えあうコミュニティと防災体制づくり	② 地域防災力強化の推進	I 事業者等の被災時の事業継続の取り組みを促進します。	総務部	飛騨市役所のBCPを作成するとともに、商工観光部が実施する「小規模商店の災害時事業継続支援」施策と連携し、講演会やBCP作成相談等を実施した。また、コロナ状況下での職員健康チェックシートを作成配布した。	R2 講演会1回 相談4回 R3 講演会1回 職員コロナ健康チェックシート配布 R4 講演会8回 相談1回	○	
137	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる-	II お互いを家族のように思い、支えあえるまち	○ みんなで支えあうコミュニティと防災体制づくり	② 地域防災力強化の推進	I 大学等と連携し、防災に関する調査・研究を推進します。	総務部	富山大学に委託し、市内に存在するものの、実態のわからない断層の地形判読・踏査・測量・掘削等の調査を行い、活動周期・年間のずれ等の状況について明らかにした。	・数河断層 R3 未調査終了 ・稲越断層 R3 未調査終了 ・太江断層 R2 未調査終了 ・畦畑断層 R2 未調査終了	○	
138	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる-	II お互いを家族のように思い、支えあえるまち	○ みんなで支えあうコミュニティと防災体制づくり	② 地域防災力強化の推進	I 市管理の河川・水路施設において、洪水時の流下阻害となる箇所、護岸等の整備や施設の改修を進め、流下能力の向上を推進します。	基盤整備部	災害の発生を予防し、または災害の拡大を防止することを目的に河川改修を実施した。	河川改修事業 R3 : 37m R4 : 55m	○	
139	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる-	II お互いを家族のように思い、支えあえるまち	○ みんなで支えあうコミュニティと防災体制づくり	② 地域防災力強化の推進	I 土砂災害により人命等に危害が及ぶ恐れのある個所においてハード対策を推進します。	基盤整備部	古川町谷地区の一時避難所となっている施設を土砂災害から守るため、平成30年度より対策事業を実施している。	急傾斜地崩壊対策事業 ～R2 : 27m R3 : 7m R4 : 8m	○	
140	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる-	II お互いを家族のように思い、支えあえるまち	○ みんなで支えあうコミュニティと防災体制づくり	② 地域防災力強化の推進	I 経済団体や飛騨地域3市1村で連携し、河川・砂防施設の整備や、治山事業など防災・減災対策について国県への要望活動を推進します。	基盤整備部	令和4年度実績として、県庁・中部地方整備局・国土交通省・財務省・国会議員への要望活動を年間を通して道路事業と合わせて実施した(111列と重複)	17回実施	○	
141	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる-	II お互いを家族のように思い、支えあえるまち	○ 楽しく子育てできる環境づくり	① 子育て環境充実の推進	I 季節・天候等を気にせず気軽に安心して遊ぶことができる場の整備と、あわせてベビーシートや授乳室などの整備を推進します。	市民福祉部	令和2年度より古川地区(ハートピア古川多目的ルーム 祝日及び第1・3土曜日)・神岡地区(神岡子育て支援センター 第2日曜日)において雨天時や降雪時期にも遊ぶことができる「子どもの遊び場」を開設した。また会場内にベビーシートや授乳室を設けた。	開催日数・利用者数(古川・神岡地区) R2 : 38回(496人) R3 : 36回(265人) R4 : 50回(249人)	○	
142	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる-	II お互いを家族のように思い、支えあえるまち	○ 楽しく子育てできる環境づくり	① 子育て環境充実の推進	I 小さなお子さんが多く集まる公園等の環境充実を推進します。	基盤整備部	杉崎公園の遊具広場をR4.10にリニューアル。魅力ある大型遊具、年齢に合わせ安心して遊べるエリア分け、インクルーシブ遊具の導入などにより、利用者が大きく増加した。	常時利用者 リニューアル前 平日0～5人程度 休日5～10人程度 リニューアル後 平日20～30人程度 休日50～60人程度	○	
143	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる-	II お互いを家族のように思い、支えあえるまち	○ 楽しく子育てできる環境づくり	① 子育て環境充実の推進	I 母親との積極的なコミュニケーションを図り、母子の健康管理を支援するとともに、乳幼児の疾病予防を推進します。	市民福祉部	妊娠届け出から乳幼児健診まで、妊娠、出産、育児期において、切れ目のない支援を目指し、保健事業を展開している。	R4実績(人) 乳幼児訪問(110)、乳児検診(103)、1歳6ヶ月検診(108)、3歳児検診(115)、3・7・12ヶ月・2歳児相談(396)	○	
144	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる-	II お互いを家族のように思い、支えあえるまち	○ 楽しく子育てできる環境づくり	① 子育て環境充実の推進	I 保護者のニーズに沿った保育体制と保育士確保対策を推進します。	市民福祉部	R3年度より私立園に対し、新規採用保育士への就職奨励金交付、求人広告掲載費用等の補助を行い、保育士確保を支援した。	就職奨励金交付 R3:1人、R4:2人 求人等費用支援 R3:1園	○	
145	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる-	II お互いを家族のように思い、支えあえるまち	○ 楽しく子育てできる環境づくり	② 産前産後の支援体制強化の推進	I 助産師や医療機関等と連携し、産前産後の不安解消のため、専門職や妊産婦同士で気軽に相談できる環境整備を推進します。	市民福祉部	助産師と毎月、連携会議(まるん会議)を実施。随時、情報共有実施。	まるん会議12回/年 産前ケア実施者 R4 20人 産後ケア(訪問型) R2 7人 R3 19人 R4 169人	○	働いている母が多く、産前にサービスに入ることが少ない。民間の助産師を活用した、産前からの支援の増加が必要。
146	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる-	II お互いを家族のように思い、支えあえるまち	○ 楽しく子育てできる環境づくり	② 産前産後の支援体制強化の推進	I 産前産後の子育て負担を軽減し、産後うつ予防を推進します。	市民福祉部	<産前産後サポート事業> 託児業務事業 産後ケア事業 子育て支援ヘルパー派遣事業	R4実績(人) 産後ケア宿泊(8)、産後ケアデイ(2)、産後ケア訪問(169)、乳児託児(10)、マサロン(189)、子育て支援ヘルパー(0)	○	より間口を開いた相談体制が必要。(SNSを利用した相談など)

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振り返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
147	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	II お互いを家族のように思い、支えあえるまち	○ 楽しく子育てできる環境づくり	③ 子育て負担軽減の推進	I 子どものライフステージに応じた経済負担の軽減を推進します。	市民福祉部	H30年度から子どものライフステージに応じた保護者の経済的負担軽減として、「入園・入学準備品支援事業」を実施している。	交付人数及び支援額・申請率 R2: 666人 (20,864千円) 95.6% R3: 684人 (21,710千円) 94.9% R4: 600人 (21,385千円) 96.2%	○	その他の支援施策として、すべての子どもに対する支援の要望もあることから、子ども版の「いきいき券」の様なものがないか検討中。
148	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	II お互いを家族のように思い、支えあえるまち	○ 楽しく子育てできる環境づくり	③ 子育て負担軽減の推進	I 意欲と個性ある生徒の大学等への進学を支援します。	教育委員会事務局、市民福祉部	飛騨市育英基金	R4貸付額 24,240千円 (41件内新規9件 5,400千円)	○	
149	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	II お互いを家族のように思い、支えあえるまち	○ 楽しく子育てできる環境づくり	③ 子育て負担軽減の推進	I 市民や団体等と連携し、放課後等に子ども達が安心して過ごすことができる子どもの居場所づくりを促進します。	市民福祉部、教育委員会事務局	「子どもの居場所づくり事業」・「みんなの居場所づくり事業」を行いながら、孤食になりがちな家庭などに安心して過ごすことが出来るように支援を行った。	子ども食堂等設置個数 R2: 4箇所 R3: 4箇所 R4: 4箇所	○	
150	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	III 生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち	○ 全世代の健康づくり・体力づくりの支援	① 生活習慣改善の推進	I 全ての世代における減塩の取り組みを推進します。	市民福祉部	飛騨市の健康課題である高血圧予防に繋がる取り組みとして、減塩チャレンジプロジェクトを継続展開し、様々な年代に減塩の重要性を意識してもらうことができた。糖尿病予防デーに合わせた新たな取組として、市医師会と連携して地元老舗旅館協力の下、減塩健康食ランチを開発・提供し、健康な食環境整備の推進に向けた新たな流れのきっかけとなった。	・飛騨市民カレッジシニア学部での講座開催 2回、参加人数 68人 ・妊娠届出時、乳幼児健診、特定保健指導時に減塩調味料サンプル進呈 ・3歳児、年長児、小6、2歳児保護者の尿中塩分想定 延べ 434人 II度以上高血圧者 H30 9.2% ワースト1位 R1 5.1% 16位 R2 4.9% 29位 R3 5.0% 42位	△	依然として多くの年代で尿中塩分が高水準であるため、令和5年度は市内組織を横断した取り組みを通じ、外食分野も含めた減塩普及を行い、幅広い年代への減塩啓発を推進する。 市内企業と連携した減塩活動も推進が必要。
151	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	III 生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち	○ 全世代の健康づくり・体力づくりの支援	① 生活習慣改善の推進	I 健康診断や人間ドックの定期的な受診を促進し重症化を予防するとともに、相談体制を強化し早期治療や生活習慣の改善を推進します。	市民福祉部	中3健診 フレッシュ健診 若者健診 飛騨市国民健康保険特定健診 75歳健診 (5月から11月に集団健診で実施)	R4実績(受診率%) 若者健診(58.1)、特定健診(54.2)、中3健診(82.4)、フレッシュ健診(26.9)、75歳健診(56.0)	○	
152	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	III 生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち	○ 全世代の健康づくり・体力づくりの支援	① 生活習慣改善の推進	I 市民の健康づくりを推進し、機運醸成を図るリーダーを育成するとともに、気軽に健康に関する取り組みを実施できる環境づくりを推進します。	市民福祉部	健康まちづくりマイスター、コミュニティー・メディカルデザイナー講座修了者をはじめとする市民や市内企業の総務・福利厚生部門の担当者に対し、「健康づくり実践リーダー研修」を11月頃に開催する。	目標値30人	○	
153	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	III 生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち	○ 全世代の健康づくり・体力づくりの支援	① 生活習慣改善の推進	I 疾病予防を目的としたワクチン接種等の支援を推進します。	市民福祉部	定期、任意予防接種の実施 带状疱疹ワクチンの新規導入 (R4年10月～)	R4実績(人) 带状疱疹シグリスク(406)、带状疱疹ドゥケ(63)	○	市内医療機関で接種を受けることが困難な方が県内の登録協力医師に依頼することができる広域化予防接種事業や、県外医療機関との個別契約や償還払いの運用を含め、予防接種機会の確保に努めている。 子宮頸がん (HPV) ワクチンについて、積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方を対象に、令和4年4月1日から令和7年3月31日までの3年間、「キャッチアップ接種」が実施されており、対象者に周知を行い、接種の検討を促した。 また、総合政策審議会での提言を踏まえ、带状疱疹ワクチン予防接種費用に対する助成制度を創設し、令和4年10月から運用を開始し、当初想定を上回る方が接種された。

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振り返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
154	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	Ⅲ 生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち	○ 全世代の健康づくり・体カづくりの支援	② 高齢者のリハビリ等軽運動と生きがいの推進	Ⅰ 高齢者が気軽に運動できる通いの場づくりと、専門職員による健康づくりを推進します。	市民福祉部	①冬期間のフレイル予防を目的に、体操を主体とした通いの場作りを市内2か所での実施し、終了後は自主活動へ移行した。 ②教育委員会の「誰でも自主講座」を活用し、ウォーキング事業を2地区で開催。保健師によるミニ講座とノルディックポール上級指導員による指導を実施した。 ③介護予防の中核的な人材育成としてシルバーリハビリ体操指導員の育成及び指導員主体の各種講座を実施した。	① 自主化への移行 R2：1ヶ所 R3：1ヶ所 R4：2か所  ②参加人数：計14名 R2：コロナにより中止 R3：17名 R4：14名  ③シルバーリハビリ体操指導員養成 R3：29名 R4：17名	○	
155	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	Ⅲ 生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち	○ 全世代の健康づくり・体カづくりの支援	② 高齢者のリハビリ等軽運動と生きがいの推進	Ⅰ 医療・介護予防・保健事業の連携による高齢者の口腔ケアの取り組みを推進します。	市民福祉部	口腔フレイル予防を目的に歯科衛生士を講師に介護予防講演会を定期実施した。 また、高齢者の保険事業と介護予防の一体的実施にて通いの場等へ歯科衛生士の派遣事業を実施した。 令和2年度より市内ケアマネージャーによる口腔ケアの取組を評価する補助制度を実施した。	口腔に関する介護予防講演会 R3~R4 4回 歯科衛生士による通いの場への関与数 R4 6箇所 口腔ケアの取組に対する補助制度 R2：2事業所 R3：3事業所 R4：3事業所	○	在宅介護において実際に口腔ケアが必要な方の関与が必要。ケアマネージャーが多職種連携しやすい環境を構築する。
156	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	Ⅲ 生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち	○ 全世代の健康づくり・体カづくりの支援	② 高齢者のリハビリ等軽運動と生きがいの推進	Ⅰ 高齢者が気軽に参加しやすい就労環境の整備と支援体制の構築を推進します。	市民福祉部	シルバー派遣就業における就業時間が拡大されるようシルバー人材センターを支援、令和5年度からは社会福祉協議会主催による生きがいづくりフェアを開催し、ボランティアから就労への相談会を実施した。	シルバー人材センターへの支援額 R3：9,900千円から11,600千円へ増額	○	
157	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	Ⅲ 生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち	○ 全世代の健康づくり・体カづくりの支援	③ スポーツを通じた健康増進の推進	Ⅰ ウォーキングや軽スポーツなど市民が気軽に運動しやすい施設環境を整備するとともに、民間施設等を活用した健康増進の取り組みを促進します。	教育委員会事務局	例年ウォーキングコースの環境整備を委託事業にて実施。R3,R4にはクアの道に木のベッドを設置するなど、参加者が満足いただける環境整備に努めた。また、H30から整備を進めてきた桜ヶ丘体育館におけるトレーニング機器の導入においては、トレーニングルーム整備を行ったほか市民ニーズに応えるためR4年度に新たな機器を導入しさらなる施設の充実を図った。	●定例ウォーキング参加者（個人・団体） R1 136人、R2 302人、R3 394人、R4 466人 ●桜ヶ丘体育館トレーニングジム利用者 R2 4,875人、R3 6,042人、R4 5,534人	△	令和元年度から整備検討委員会を設置して進めてきた古川町屋内運動場整備事業が遅れており、早急に進める必要がある。
158	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	Ⅲ 生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち	○ 全世代の健康づくり・体カづくりの支援	③ スポーツを通じた健康増進の推進	Ⅰ 事業者や団体等との連携を強化し、指導者の確保・育成を推進します。	教育委員会事務局	令和3年度にスポーツ少年団も傘下に加え設立された飛騨市スポーツ協会に対し補助金等を交付することで、指導者育成事業を実施。また、ウォーキング事業においても、クアオルト、ノルディックの公認指導員の確保に対し、それぞれ委託、助成を行い、指導者の確保に努めた。	●スポーツ少年団指導者育成事業 R3 - R4 180千円 ●クアオルト公認指導員新規認定者 R2 8名、R3 1名、R4 2名 ●ノルディックウォーキング公認指導者新規資格取得者 R1 1名、R2 6名、R3 2名、R4 1名	○	中学部活動の地域クラブ化において、その受け皿となる各スポーツ団体の指導者の確保と質の向上は不可欠であり、スポーツ協会、スポーツ少年団においては指導者育成事業を更に推進していただく必要がある。

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
159	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	Ⅲ 生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち	○ 全世代の健康づくり・体カづくりの支援	③ スポーツを通じた健康増進の推進	Ⅰ 競技スポーツの普及啓発を図り、市民の運動意識の醸成とスポーツによる交流を促進します。	教育委員会事務局	令和2年度は予定していたスポーツイベントがコロナ禍の為軒並み中止せざるを得ない状況になるなど多くの事業が行えなかったが、R3からは感染症対策を行うなど、徐々にコロナ前の状態に戻り、スポーツの普及啓発、交流に資する事業を実施することができた。また、新たな試みとしてR3年度から総合型地域スポーツクラブに委託して開始したスポーツ学童事業は、利用者ニーズが高く、子どもたちのスポーツに対する意識の醸成を高めることができた。	●スポレク祭 R3 1000名(古川トレセン) R4 300名(桜ヶ丘体育館) ●元旦マラソン R3 1000名、R4 1030名 ●FC岐阜子どもサッカー教室 R3 2回62名参加 R4 2回48名参加 ●オリンピック交流事業 R3 1回 R4 3回110名参加 ●宝くじスポーツフェアドリームベースボール R4 131名参加 来場者1214名 ●スポーツ学童事業 R3 15回(神岡) 336名参加 R4 18回(神岡) 282名参加 4回(古川) 117名参加	△	山之村だいこんマラソンに代わる事業としてR4年度に企画した全国中学生クロスカントリー大会が参加者が集まらず中止となったことから、R5年度再度原因等を徹底究明し継続してける事業として取り組む必要がある。また、スポーツ事業における交流促進と同時に、地域経済などの地域活性化に繋がるスポーツイベントへの取組についても、今後推進していく必要がある。 スポーツ学童事業についても、利用者ニーズが高いことから、今後も実施の回数を増やすなど、ニーズに対応していく。
160	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	Ⅲ 生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち	○ どんな人でも自分のペースで活躍できる環境づくり	① 誰もが活躍できる仕組みづくりの推進	Ⅰ 参画しやすい新たなコミュニティの形成を図るとともに、支援体制の構築を推進します。	市民福祉部	ふりーすペーすの中に多目的スペース(たーとる)を設置し、決まりのない誰でも受け入れる場を週1開催。R4からは週2に増やした。	ふりーすペーすたーとるの開催 延べ参加人数 R2:26名、R3:24名、R4:42名	△	どんな方でも利用できるものの、開催日時が決まっているため、利用者が限定された。
161	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	Ⅲ 生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち	○ どんな人でも自分のペースで活躍できる環境づくり	① 誰もが活躍できる仕組みづくりの推進	Ⅰ 特技を発揮して、自分のペースで無理なく社会参画できる仕組みづくりを推進します。	市民福祉部	R3年度より地域生活安心支援センターふらっとを開設し、生きづらさを抱えた方の総合相談を開始。生活環境因子の他に個人の特性因子を専門的に見立てることにより本人のメタ認知を促し、自分に合った社会参加を目指せる様、対応した。	ふらっと総合相談からの社会参加支援指南件数(引きこもり、就労相談) R3:27件、R4:29件	○	社会参加できていない人の中には役所に相談に来ること自体、ハードルが高かったり、「支援」されることに抵抗のある方もいる。まずは人と会って話が出るための窓口となる相談体制を考えたい。
162	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	Ⅲ 生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち	○ どんな人でも自分のペースで活躍できる環境づくり	① 誰もが活躍できる仕組みづくりの推進	Ⅰ 性別や年齢、出身などに関わらず、誰もが自分らしく活躍できる環境づくりを推進します。	市民福祉部	・7/21「誰も排除されないダイバーシティのまちづくり」の演題でダイバーシティ研究所代表理事田村太郎氏による市民向け講演会の開催。 ・ダイバーシティ宣言検討委員の募集・依頼。	・講演会参加者53名 ・ダイバーシティ宣言検討委員 26名 (人権擁護委員10名・関係者6名・一般応募4名・市職員6名)	○	
163	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	Ⅲ 生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち	○ どんな人でも自分のペースで活躍できる環境づくり	② 誰もが無理なく楽しめる場づくりの推進	Ⅰ 誰もが気軽に集まることができる居場所づくりを進めるとともに、自分の活動を気軽にPRすることができる場の提供を推進します。	教育委員会事務局、 商工観光部	自らの趣味や特技を生かしただれでも自主講座により仲間づくりを推進。	R2 26講座246名 R3 39講座443名 R4 40講座358名	○	
164	2. あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -	Ⅲ 生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち	○ どんな人でも自分のペースで活躍できる環境づくり	② 誰もが無理なく楽しめる場づくりの推進	Ⅰ 割石温泉など、子どもから高齢者まで気軽に集い触れ合うことができる環境づくりを推進します。	市民福祉部	老人福祉センター本来の目的である健康増進へ生きがいづくり機能の充実として、食事や体操などレクリエーションを充実させるよう進めた。	民間レクリエーション事業委託 R5:700千円	△	割石温泉スタッフ人員を確保することが困難な状況にあることから、施設管理業務を細分化し、外部委託や労働条件の改善を図っている。
165	3. 誇りの持てる飛騨市づくり - ひとを伸ばす -	Ⅰ 子ども達の生きる力を地域一体で育む学び豊かなまち	○ 未知の課題に立ち向かい自ら解決することのできる子ども達を育むまちづくり	① 飛騨市学園構想の推進	Ⅰ 飛騨市学園構想が理想とする未来の創り手像の育成を目指し、課題解決型人材育成のための独自カリキュラムを推進します。	教育委員会事務局	飛騨市学園構想コアチームにカリキュラム部会を設置し、『飛騨市学園ビジョン』の育てたい資質・能力を踏まえた課題解決型学習を推進した。	独自カリキュラムの推進 R2：実態を踏まえたカリキュラムの見直し R3：各校の独自カリキュラム作成 R4：独自カリキュラムによる各校の実践	○	
166	3. 誇りの持てる飛騨市づくり - ひとを伸ばす -	Ⅰ 子ども達の生きる力を地域一体で育む学び豊かなまち	○ 未知の課題に立ち向かい自ら解決することのできる子ども達を育むまちづくり	① 飛騨市学園構想の推進	Ⅰ 飛騨市学園構想を市民や飛騨圏域、県内外に広く周知するとともに、市民の主体的参画を促すことにより意識の醸成を推進します。	教育委員会事務局	飛騨市学園構想コアチームに広報部会を設置し、児童生徒の学校や地域での活動を広く周知した。	周知の方法 R2：市HP,リフレット R3：市HP,FB,広報ひだ,リフレット R4：市HP,FB,広報ひだ,リフレット	○	

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
167	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	I 子ども達の生 きる力を地域一体 で育む学び豊かな まち	○ 未知の課題に 立ち向かい自ら解 決することのできる 子ども達を育むま ちづくり	① 飛騨市学園 構想の推進	I コミュニティ・スクール制度を導入し、地域と一体と なった人材育成の体制づくりを推進します。	教育委員会事 務局	各学校で(神岡小・中、山之村小・中は 合同) 学校運営協議会を設置し、地域 学校協働本部と連携し、地域学校協働 活動を推進した。	学校運営協議会の設置数 R2: 7 (小4,中1,小中合同2) R3: 7 (小4,中1,小中合同2) R4: 7 (小4,中1,小中合同2)	○	
168	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	I 子ども達の生 きる力を地域一体 で育む学び豊かな まち	○ 未知の課題に 立ち向かい自ら解 決することのできる 子ども達を育むま ちづくり	① 飛騨市学園 構想の推進	I 企業等や学校と連携し、高等学校による地域活動 を通じた実践的な教育プログラムの構築と実践を促進 します。	企画部	魅力ある地元高校づくり事業の中で、各 高校が地域と進める事業の積極的な情 報発信支援と、生徒たちが取り組む課題 探求授業に対する伴奏支援を行った。 (市長講義、市長の夏季特別講習、東 京大学院生による補習授業に関する調 整支援、高校生ヒダスケ実施の支援、高 校PR紙の発行及び配布、高校生出前授 業実施支援など) R4年度より魅力ある高校応援助成金を 創設し、高校自ら考える課題探求活動に 対する支援を行っている。 R5年度からは、市内の特別支援学校高 等部を含む3つの高校合同での芸術鑑賞 実施に対しても応援助成金の拡充を行っ た。	各高校との連携を密にするため、各高校 校長及び担当教諭、市役所部長以下を メンバーとした合同会議を定期的に開催し 情報共有を行っている。 R4年度 3回開催 R5年度 8/14現在 1回開催	○	
169	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	I 子ども達の生 きる力を地域一体 で育む学び豊かな まち	○ 未知の課題に 立ち向かい自ら解 決することのできる 子ども達を育むま ちづくり	② 飛騨市なら ではの教育と環境 整備の推進	I 各学校施設の維持改修を回り、安心して学べる環 境整備を推進します。	教育委員会事 務局	各学校の突発修繕及び維持修繕を実施 R3~R4 神岡小学校外壁改修工事	R4:小学校修繕経費4,587千円 中学校修繕経緯2,560千円 学校工事費 155,970千円	○	各学校施設の長寿命化や施設改修計 画を具体化し、計画的な改修を行う必要 がある。
170	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	I 子ども達の生 きる力を地域一体 で育む学び豊かな まち	○ 未知の課題に 立ち向かい自ら解 決することのできる 子ども達を育むま ちづくり	② 飛騨市なら ではの教育と環境 整備の推進	I 小学校や中学校のICT教育環境を整備し、教育の 情報化を推進します。	教育委員会事 務局	ICT環境整備を計画的に推進し、タブレッ ト端末や電子黒板、デジタル教科書教材 等を活用した授業づくりを行った。	タブレット端末の貸与状況 R2: タブレット(小4以上で1人1台) R3: タブレット(小3以上で1人1台) R4: タブレット(全児童生徒1人1台)	○	タブレット端末を1人1台貸与し、Eライブラ リやロイノート等の教材が充実してきた。 しかし電子ペンは未整備で、画面に指で 文字等を書いている状況である。
171	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	I 子ども達の生 きる力を地域一体 で育む学び豊かな まち	○ 未知の課題に 立ち向かい自ら解 決することのできる 子ども達を育むま ちづくり	② 飛騨市なら ではの教育と環境 整備の推進	I ふるさとの歴史や文化を学び体験する教育を推進し ます。	教育委員会事 務局	飛騨市学園ビジョンのもとに、地域資源 (ひと・こと・もの)を活用したふるさと教育 推進事業を実施した。	ふるさと教育推進事業費 R2: 3,060千円 R3: 2,797千円 R4: 3,155千円	○	
172	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	I 子ども達の生 きる力を地域一体 で育む学び豊かな まち	○ 未知の課題に 立ち向かい自ら解 決することのできる 子ども達を育むま ちづくり	② 飛騨市なら ではの教育と環境 整備の推進	I 飛騨市産農畜産物等の地域資源を活用した教育を 推進します。	教育委員会事 務局	9/9に「ふるさと学校給食の日」として飛騨 市産の食材で給食を提供し、山之村小 中学校ではほうれんそう生産農家の方から こだわりの営農方法などのお話をうかがっ た。	ふるさと納税を財源として給食にデザートと して市内の食料加工品を提供する「ありが とう給食」(月2回程度 延べ81回) 及 び市内産農産物を提供する「ふるさと学校 給食」を実施(延べ101回)	○	
173	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	I 子ども達の生 きる力を地域一体 で育む学び豊かな まち	○ 未知の課題に 立ち向かい自ら解 決することのできる 子ども達を育むま ちづくり	② 飛騨市なら ではの教育と環境 整備の推進	I 小学校での英語教育体制の強化を推進します。	教育委員会事 務局	未来の創り手となる児童生徒に求められる 資質・能力の一つである「グローバル化に 対応する力(外国語によるコミュニケーシ ョン能力など)」の育成に向け、小学校に英 語指導講師等を配置し英語教育の充実 を図った。	英語指導講師/英語教育指導員配置 R2: 2人/2人 R3: 2人/2人 R4: 2人/2人	○	

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
174	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	I 子ども達の生 きる力を地域一体 で育む学び豊かな まち	○ 未知の課題に 立ち向かい自ら解 決することのできる 子ども達を育むま ちづくり	② 飛騨市なら ではの教育と環境 整備の推進	I 県立吉城高等学校、県立飛騨神岡高等学校との 連携を強化し、地域と一体となった魅力的な学習環境 づくりを支援します。	企画部	魅力ある地元高校づくり事業の中で、各 高校が地域と進める事業の積極的な情 報発信支援と、生徒たちが取り組む課題 探求授業に対する伴奏支援を行った。 (市長講義、市長の夏季特別講習、東 京大学院生による補習授業に関する調 整支援、高校生ヒダスケ実施の支援、高 校PR紙の発行及び配布、高校生出前授 業実施支援など) R4年度より魅力ある高校応援助成金を 創設し、高校自ら考える課題探求活動に 対する支援を行っている。 R5年度からは、市内の特別支援学校高 等部を含む3つの高校合同での芸術鑑賞 実施に対しても応援助成金の拡充を行っ た。	各高校との連携を密にするため、各高校 校長及び担当教諭、市役所部長以下を メンバーとした合同会議を定期的で開催し 情報共有を行っている。 R4年度 3回開催 R5年度 8/14現在 1回開催	○	
175	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	I 子ども達の生 きる力を地域一体 で育む学び豊かな まち	○ 未知の課題に 立ち向かい自ら解 決することのできる 子ども達を育むま ちづくり	③ 部活動や学 校外での活動支 援の推進	I 部活動指導体制の強化を推進するとともに、普段の 練習に加え大会出場等も含めたサポートを推進しま す。	教育委員会事 務局	部活動指導員や部活動外部指導者を配 置し指導体制を強化するとともに、飛騨市 部活動充実支援補助金により大会等へ の参加経費の一部を補助した。	部活動指導員/部活動外部指導者配置 R2：4人/18人 R3：4人/22人 R4：4人/17人	○	
176	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	I 子ども達の生 きる力を地域一体 で育む学び豊かな まち	○ 未知の課題に 立ち向かい自ら解 決することのできる 子ども達を育むま ちづくり	③ 部活動や学 校外での活動支 援の推進	I 学校外での様々な活動に光を当て、学校内はもとよ り市民全体で応援する環境づくりを促進します。	教育委員会事 務局	飛騨市学園構想のコアチームに地域学校 協働活動部会を設置し、創りたい地域像 「みんなで育てみんなが育つ魅力あるまち」 を踏まえ、地域学校協働活動を推進し た。	地域学校協働活動の具体例 R2：防災教育、学校内における対策協力 R3：河合つ子マルシェ、山っこブランド販売 会 R4：古小サポーター、ひだっ子キャンプスクール	○	
177	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	I 子ども達の生 きる力を地域一体 で育む学び豊かな まち	○ 未知の課題に 立ち向かい自ら解 決することのできる 子ども達を育むま ちづくり	③ 部活動や学 校外での活動支 援の推進	I 少子化による部活動の維持のための学校間での合 同チームの構築や大会等への出場を支援します。	教育委員会事 務局	飛騨市部活動充実支援補助金により大 会等への参加経費の一部を補助した。令 和4年からは合同部活動を実施する2 中学校間の生徒の移動を支援した。	部活動充実支援補助金活用状況 R2：13件（494千円） R3：31件（1,486千円） R4：36件（2,270千円）	○	
178	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	II 一人ひとりの 頑張りを応援し互 いに尊敬しあえる まち	○ 生涯学び自 分を磨くことがで きる環境づくり	① 生涯にわた って学べる環境整 備の推進	I 「飛騨市市民大学（仮称）」構想を進め、全国の 一流講師等による講義を受けられるような仕組みの構 築を推進します。	教育委員会事 務局	R2にプレ開校、R3に市民カレッジとして本 開校した。	市民カレッジの開催状況 R3：8講座250名 R4：8講座800名	○	より市民ニーズに合わせた講座内容の充 実
179	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	II 一人ひとりの 頑張りを応援し互 いに尊敬しあえる まち	○ 生涯学び自 分を磨くことがで きる環境づくり	① 生涯にわた って学べる環境整 備の推進	I 市民が自分を磨くことができる様々な学びプログラ ムの造成を促進し、あわせて市民自身が講師として教 え合える仕組みづくりを推進します。	教育委員会事 務局	誰でも自主講座の講師の募集及び講座 の開催を春と秋に実施。	誰でも自主講座の開催状況 R2：26講座246名 R3：39講座443名 R4：40講座358名	○	
180	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	II 一人ひとりの 頑張りを応援し互 いに尊敬しあえる まち	○ 生涯学び自 分を磨くことがで きる環境づくり	② 趣味を楽し み文化芸術に触 れる環境整備の 推進	I 飛騨市美術館の改修等を行い、市民が気軽に文 化・芸術に触れる環境を整備するとともに、一流芸 術家から直接学ぶことができる仕組みの構築を推進し ます。	教育委員会事 務局	令和4年度で大規模改修を終えた。ま た、作家のギャラリートークやワークショップに て直接学ぶことができる機会を創出した。	ワークショップ等参加者 R3：345人 R4：2,350人	○	人気作家＝一流作家ではないという認識 で、いかに機会を提供できるかに重きをお く。
181	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	II 一人ひとりの 頑張りを応援し互 いに尊敬しあえる まち	○ 生涯学び自 分を磨くことがで きる環境づくり	② 趣味を楽し み文化芸術に触 れる環境整備の 推進	I 市民が気軽に自身の創作活動を行うことができる環 境を整備し、活動を発表できる機会と場の創出を推進 します。	教育委員会事 務局	美術教室発表展と小中学校図工美術作 品展を併催することにより、市民の作品を 多くの方の目に留まる機会を創出した。	R2：929人 R3：1,243人 R4：105人	○	R5よりロビー貸出を開始することで、さらに 多くの機会を創出したい。

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振り返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
182	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	II 一人ひとりの 頑張りを応援し互 いに尊敬しあえる まち	○ 生涯学び自 分を磨くことができ る環境づくり	② 趣味を楽し み文化芸術に触 れる環境整備の 推進	I 飛騨河合音楽コンクールなどの経験と人脈を生か し、全国の若手アーティストが訪れ腕を磨くことができる 機会づくりを推進します。	河合振興事務 所	音楽セミナー開催にかかる会場提供（市 コンベンション補助金申請手続き等の支 援。以下直近のもの） ①2022.9月飛騨ホルン合宿（高橋先 生） ②2023.3月飛騨室内楽春セミナー（金 木先生） ③2023.8月飛騨室内楽夏セミナー（金 木先生） ①～③会場：文化交流センター・やま びこ館	①20名（2泊3日）延べ40泊 ②60名（3泊4日）延べ180泊 ③60名（3泊4日）延べ180泊	○	・市民へのクラシック音楽の普及浸透 （真夏の夜のコンサートは350人を超え た） ・音楽コンクールの質の高い円滑な運営体 制の構成 ・過去に実施していた交流会の復活 （主催者側と講師・セミナー生徒との飲食 を交えた交流会（会費制））
183	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	II 一人ひとりの 頑張りを応援し互 いに尊敬しあえる まち	○ 生涯学び自 分を磨くことができ る環境づくり	② 趣味を楽し み文化芸術に触 れる環境整備の 推進	I 飛騨市にゆかりのある芸術家等の掘り起こしと、作 品のまちなか展示を推進します。	教育委員会事 務局	R2ワダaska・小枝利汎、R3沖野清、R4 茂住修身など飛騨にゆかりのある作家の 企画展を実施した。また、令和3年度に街 なかポケットミュージアムを新設した。それ により、飛騨市美術館（旧飛騨の山樵 館）企画展をマイナーチェンジした展示に 至った。	美術館入館者 R2：4,166人 R3：5,039人 R4：6,185人 街なかポケットミュージアム R3（11月～）：545人 R4：2,685人	○	R5には美術館で山城にスポットを当てた 企画展を行うなど、アートセンターとして の道を模索している。
184	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	II 一人ひとりの 頑張りを応援し互 いに尊敬しあえる まち	○ 個性あるまち づくり活動の促進	① まちづくりを担 う人材の発掘・育 成の推進	I 市民個人や団体が行う大小様々なまちづくり活動を 発掘し、広く周知するとともに、互いに応援し合える環 境整備を推進します。	商工観光部 (まちづくり観光 課)	●node R5 各種交流会の開催（体験） ●まちの元気応援事業（補助） R4 8件 R5 12件	■node（4～8月） ・利用者 2千人（対前年比110%） ■まちの元気応援事業（補助） R4：8件 R5：12件（9月末）	△	■課題＝認知度不足 ①市民認知度低（相談機能） ②情報発信不足 ③人材不足
185	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	II 一人ひとりの 頑張りを応援し互 いに尊敬しあえる まち	○ 個性あるまち づくり活動の促進	① まちづくりを担 う人材の発掘・育 成の推進	I 企業や団体、大学等と連携し、新たにまちづくりを担 う人材の発掘と育成を推進します。	企画部	岐阜大学、大正大学、静岡大学と連携 し、地域課題解決及び地域活性化に主 体的に取り組むことができる人材の育成と 確保を目指している。 そのため、令和2年度に地域活性化人材 確保対策助成金を創設し、連携協定大 学の学生を対象とし、大学卒業後3年以 内に飛騨市内に就職又は起業する意向 のある学生に対して年額25万円を先行 支給（3年以内に飛騨市に戻ってこなけ れば返済必要）している。 併せて、連携協定大学の学生が、飛騨市 内で5日以上アルバイト又は実習を行っ た場合に、日数に応じた奨励金を支給す ることとしている。	支給実績 R2年度＝25万円×大正大学学生2名 奨励金 大正大学学生1名 R3年度＝25万円×大正大学学生1名 ※前年支給の学生のうち1名は一時休 学によりR3年度は支給対象外 R4年度＝支給実績なし ※過去支給の学生2名は一時休学によ りR4年度は支給対象外	○	
186	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	II 一人ひとりの 頑張りを応援し互 いに尊敬しあえる まち	○ 個性あるまち づくり活動の促進	② 地域のまちづ くり活動の連携と 創出促進	I 各団体同士の交流とまちづくり人材の育成を推進す るとともに、各団体が気軽に集える拠点整備を推進し ます。	商工観光部	●まちづくり拠点「node」設置（R3） ●まちの元気応援事業 ※まちづくり活動支援（1/2補助）	■node（4～7月） ・利用者 2千人（R4比110%） ■まちの元気応援（補助） R4 8団体 675千円 R5 12団体	△	■課題＝認知不足 ①nodeの市民認知不足 ②運営体制の見直し（人材不足） ③コミュニティの形成（交流）

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
187	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり ひとを伸ばす	Ⅱ 一人ひとりの 頑張りを応援互 いに尊敬しあえる まち	○ 個性あるまち づくり活動の促進	② 地域のまちづ くり活動の連携と 創出促進	Ⅰ 市民が気軽に他地域のまちづくり活動やイベントに 参加できる環境整備を推進します。	企画部、商工観 光部	地域課題の解消をプログラム化し、市民と 市民、市民と外部人材との交流を生み出 す仕組み「ヒダスケ」を令和2年度に創設 し、これまではなかった他地域との新たな 交流が生まれるきっかけとなっている。	ヒダスケ参加者数（延べ人数） R2: 445人 R3: 519人 R4: 812人 R4のうち、 飛騨市民参加者36% 高山市民参加者18% 県内飛騨地域以外参加者12% 県外参加者 34%	○	
188	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり ひとを伸ばす	Ⅲ 豊かな環境と 個性ある地域資 源を大切にす誇 り高いまち	○ 地域・文化資 源を大切に自慢 できる仕組みづ り	① 新たな地域 資源・歴史資源 創出と掘り起こし・ 磨き上げの推進	Ⅰ ドローンや廃線鉄道及び鉱山のまち特有の歴史資 源の利活用など、市民や団体と連携した飛騨市特有 の地域資源を活用したまちづくりの拡大を推進します。	神岡振興事務 所	旧神岡鉄道の廃線鉄道を活用したロスト ラインパーク事業として、NPO法人神岡ま ちづくりネットワークの協力を得てレールマウ ンテンバイクGattanGo!!により集客・交流 人口の拡大を目指す	レールマウンテンバイクGattanGo!! 入込客数 R2: 55,311人 R3: 46,915人 R4: 65,579人	○	古い施設のため安全運行に係る定期的な メンテナンスが必要
189	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり ひとを伸ばす	Ⅲ 豊かな環境と 個性ある地域資 源を大切にす誇 り高いまち	○ 地域・文化資 源を大切に自慢 できる仕組みづ り	① 新たな地域 資源・歴史資源 創出と掘り起こし・ 磨き上げの推進	Ⅰ 鮎や棚田風景など飛騨市が全国に自慢できる地域 資源を掘り起こし、地域住民や団体、大学等と連携し たブランディングを推進します。	宮川振興事務 所	種蔵村村民に皆さんがやりたいことにつ いてアンケート調査を実施。種蔵村議会にて 地域住民や大学等とやりたいこと総合計 画について意見交換を行った。	種蔵村議会 R2 35人 R3 43人 R4 33人	○	アンケートに基づき、やりたいこととしてあが ってきた取り組みや、農村移住を希望される 方がないか、農村ツアー的な事業を計画 する。
190	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり ひとを伸ばす	Ⅲ 豊かな環境と 個性ある地域資 源を大切にす誇 り高いまち	○ 地域・文化資 源を大切に自慢 できる仕組みづ り	① 新たな地域 資源・歴史資源 創出と掘り起こし・ 磨き上げの推進	Ⅰ 国史跡指定を目指した山城の調査を推進するととも に、全国への発信と国名勝 江馬氏館跡庭園の保存 活用を推進します。	教育委員会事 務局	令和4年度で調査を終え、2件の史跡 指定の意見具申書を提出した。また、江 馬氏館跡庭園は奈文研の指導を継続的 に受けた	R2: 古川城跡・傘松城跡の発掘 R3: 江馬氏城館跡の半世紀調査まとめ R4: 姉小路氏城館跡調査報告書	○	R5に調査成果を公表する企画展示・シン ポジウム。 R6以降に永続的な保存活用を定める計 画策定予定。
191	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり ひとを伸ばす	Ⅲ 豊かな環境と 個性ある地域資 源を大切にす誇 り高いまち	○ 地域・文化資 源を大切に自慢 できる仕組みづ り	① 新たな地域 資源・歴史資源 創出と掘り起こし・ 磨き上げの推進	Ⅰ 糸引き工女など飛騨市に関わりのある歴史の調査・ 研究と、市内外への周知を推進します。	教育委員会事 務局	令和元年度で調査を終え、報告書を刊 行。街なかポケットミュージアムで令和2年 度に企画展を実施した。	R1: 調査報告書刊行 R2-3: 街なかポケットミュージアム企画展	○	
192	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり ひとを伸ばす	Ⅲ 豊かな環境と 個性ある地域資 源を大切にす誇 り高いまち	○ 地域・文化資 源を大切に自慢 できる仕組みづ り	① 新たな地域 資源・歴史資源 創出と掘り起こし・ 磨き上げの推進	Ⅰ ユネスコ無形文化遺産登録された古川祭の史実調 査・研究を推進します。	教育委員会事 務局	平成29年度より調査を開始し、令和2年 度に方針を改め、令和3年度より台組と 協力して調査を開始し、概ね月1回の委 員会を重ねる。	R3: 準備委員会9回 R4: 委員会10回、台組説明会2回、台 組報告会4回、市民講演会2回	△	収集した史料が膨大で分析に時間を要す る。
193	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり ひとを伸ばす	Ⅲ 豊かな環境と 個性ある地域資 源を大切にす誇 り高いまち	○ 地域・文化資 源を大切に自慢 できる仕組みづ り	① 新たな地域 資源・歴史資源 創出と掘り起こし・ 磨き上げの推進	Ⅰ 天生の森、池ヶ原、深洞湿原の保全を推進するととも に、環境保護技術の向上、伝承を支援します。	商工観光部、 河合振興事務 所、 宮川振興事務 所、 神岡振興事務 所	●天生 サイン工事（先送り） ●池ヶ原 電柵設置（7月） ※5月合同パト。カメラ・撃退器設置 ●白木峰 駐車場整備（5月） ●深洞 登山道補修（7月） ●天蓋山 新登山道整備（7月） ●安峰山 案内看板設置（7月）	■各資源入込数（振興事務所整理） ■森スケ（保全ボランティア） 7/16 池ヶ原ヨシ刈り他 26名 7/22 天蓋山新道整備 25名 7/30 深洞オオバコ除去 22名 8/6 天生オオバコ除去 15名 10/7 天蓋山登山道補修 15名	○	
194	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり ひとを伸ばす	Ⅲ 豊かな環境と 個性ある地域資 源を大切にす誇 り高いまち	○ 地域・文化資 源を大切に自慢 できる仕組みづ り	① 新たな地域 資源・歴史資源 創出と掘り起こし・ 磨き上げの推進	Ⅰ 大学や事業者等と連携し、宇宙物理学研究の支援 を推進します。	神岡振興事務 所	ひだ宇宙科学館カミオカラボを中心として 宇宙物理学研究の情報発信を実施し、 広く理解を求めるとともにより多くの方への 周知を図る	ひだ宇宙科学館カミオカラボ入館者数 R1: 130,831人 R2: 56,850人 R3: 52,980人 R4: 89,320人	○	ハイパーカミオカンデ完成に向けた協力や 刻々と進歩する研究に追従するため展示 内容の在り方を検討する必要がある。
195	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり ひとを伸ばす	Ⅲ 豊かな環境と 個性ある地域資 源を大切にす誇 り高いまち	○ 地域・文化資 源を大切に自慢 できる仕組みづ り	① 新たな地域 資源・歴史資源 創出と掘り起こし・ 磨き上げの推進	Ⅰ 中心市街地の衰退が進行しないよう、景観形成地 区における街並み景観の魅力を高め、市民や来訪者 が快適に過ごせる住環境の構築を促進します。	商工観光部	●R4町並み景観研究会設置 R4 学び（町の歴史） R5 具体的な課題解決策実施 ※サポート：新潟大学	■具体的な活動（なつかしの写真展） 8/26 殿町（瀬戸川川床） 9/23～式之町（ぼんぼり）	△	■課題＝組立＋ゴール設定 ①各種活動を通じた将来像の整理 ※景観維持ルール化 ②活動参加者の活性化（マンネリ） ③小中学生との連携（次世代） ④匠文化館の活用（まちの博物館）

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
196	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	Ⅲ 豊かな環境と 個性ある地域資 源を大切にす誇 り高いまち	○ 地域・文化資 源を大切にし自慢 できる仕組みづくり	② 文化資源継 承の推進	Ⅰ 地域の祭や歌舞伎、獅子舞、能、民謡等の伝統芸 能、文化等を後世に継承する取り組みを支援します。	教育委員会事 務局、 河合振興事務 所、 神岡振興事務 所	河合地区担当の古田集落支援員（と屋 比久集落支援員・古川町担当）が地域 に出向き、伝統芸能の継承を支援した。	①5/3（祝）富士神社例祭（小雀獅 子）に参加。 （祭りの練習時にも参加し、地域住民と 交流した） ②8/11（祝）飛騨かわい河合歌舞伎 公演に運営スタッフとして出役した。 ③その他：河合の伝統工芸品「山中和 紙」のちりより作業に使役した。	○	
197	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	Ⅲ 豊かな環境と 個性ある地域資 源を大切にす誇 り高いまち	○ 地域・文化資 源を大切にし自慢 できる仕組みづくり	② 文化資源継 承の推進	Ⅰ 貴重な伝統文化の映像を保存し、市民が気軽に閲 覧できる仕組みの構築を推進します。	教育委員会事 務局	市内で開催している伝統文化を含むイベ ントの映像御記録し、図書館の視聴覚資 料として公開している。	R2：25件 R3：30件 R4：34件	○	
198	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	Ⅲ 豊かな環境と 個性ある地域資 源を大切にす誇 り高いまち	○ 地域・文化資 源を大切にし自慢 できる仕組みづくり	② 文化資源継 承の推進	Ⅰ 古川祭屋台の曳行の支障となる電線等の改善によ り、屋台の保存と曳行しやすい環境の整備を推進しま す。	基盤整備部	支障となる電線等の移設については、R 3までに屋台組から要望のあった全箇所 が完了し、祭り屋台を安全かつ円滑に曳 行できる環境を推進した。	改善路線 ・市道11路線 ・県道1路線	○	
199	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	Ⅲ 豊かな環境と 個性ある地域資 源を大切にす誇 り高いまち	○ 豊かな自然と 水を守り後世に引 き継ぐ仕組みづくり	① ゴみの減量化 の推進	Ⅰ 企業等との連携によるゴミ減量の取り組みを推進し ます。	環境水道部	令和元年に飛騨市ごみゼロパートナー登 録制度実施要綱を制定。事業者がごみ 減量や資源化に関する取り組みを宣言 し、市がごみゼロパートナーとして登録、広 報等で支援する。	ごみゼロパートナー登録8社	○	
200	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	Ⅲ 豊かな環境と 個性ある地域資 源を大切にす誇 り高いまち	○ 豊かな自然と 水を守り後世に引 き継ぐ仕組みづくり	① ゴみの減量化 の推進	Ⅰ 市民がゴミを分別し、リサイクル回収しやすい環境整 備を推進します。	環境水道部	【24時間資源ごみ回収ボックスの設置】 H30年度より開始し、現在6基を設置し ている。 H30：1基〈古川1(若宮P)〉 R1：1基〈神岡1(振興事)〉 R2：2基〈河合1(振興事)、宮川1(保 健セ)〉 R3：2基〈古川1(袈裟丸)、神岡1(山 田)〉 【エコサポートかみおか休日開所】 R4年度から開始し、R5年度は毎月開所 の12回実施。 【衣類定期回収】 R1年度から開始し、R5年度は各4町で5 回（5・7・9・11・3月）実施予定。	24時間資源ごみ回収ボックス回収実績 R1:衣類 16,795kg、新聞 12,370kg、雑誌 11,820kg、ダンボール 10,730kg 合計 51,715kg R2:衣類 23,227kg、新聞 28,560kg、雑誌 29,760kg、ダンボール 23,100kg、紙パック 50kg 合計 104,697kg R3:衣類 21,885kg、新聞 33,850kg、雑誌 34,590kg、ダンボール 33,620kg、紙パック 376 kg 合計 124,321kg R4:衣類 23,313kg、新聞 31,520kg、雑誌 31,830kg、ダンボール 34,920kg、紙パック 319 kg 合計 121,902kg  エコサポートかみおか休日開所利用件数 R4:6/5 30件、8/7 21件、10/2 16件、 11/6 10件、12/4 22件、3/5 9件 合計 108件 R5:4/2 13件、5/7 15件、6/4 11件、7/2 12件、8/6 11件（8/18現在）  衣類定期回収実績 R2: 26,522kg 2,179人 R3: 34,830kg 2,799人 R4: 29,122kg 2,414人	○	【エコサポートかみおか休日開所】 ・神岡町民からの認知度も上がってきて、 ④のとおり利用される方がいるものの、民 間設定の利用料金となっているため、市リ サイクルセンターまで直接持込される方も 多い。利便性を向上させる必要がある。
201	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	Ⅲ 豊かな環境と 個性ある地域資 源を大切にす誇 り高いまち	○ 豊かな自然と 水を守り後世に引 き継ぐ仕組みづくり	① ゴみの減量化 の推進	Ⅰ 市民との協働により不用となった物を再利用するリ ユース活動を支援します。	環境水道部	R2年度からリユース品譲渡会「子どものモ ノ リユース広場」開催	リユースイベント開催 R2: (古川) 1/31 80人 R3: (古川) 3/14 73人 (神岡) 3/14 32人 R4: (古川) 8/21 176人	○	

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
202	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	Ⅲ 豊かな環境と 個性ある地域資 源を大切にす誇 り高いまち	○ 豊かな自然と 水を守り後世に引 き継ぐ仕組みづく り	① ゴミの減量化 の推進	Ⅰ ゴミ減量の取り組みを推進する地域のリーダーの育成を推進します。	環境水道部	R1年度からエコサポーター養成講座を開始	エコサポーター養成者数 R2: 46人 R3: 27人 R4: 49人	○	
203	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	Ⅲ 豊かな環境と 個性ある地域資 源を大切にす誇 り高いまち	○ 豊かな自然と 水を守り後世に引 き継ぐ仕組みづく り	① ゴミの減量化 の推進	Ⅰ 学校や飲食店・宿泊施設等と連携し、食べ残し等食品廃棄の減量を推進します。	環境水道部	R1年度に子ども食べきりキャラバン隊による啓発活動、食材使い切り料理教室を実施。 【ぎふ食べきり運動】 県が平成30年度から実施。管内の事業所及び各種団体等への周知協力。 R3.6.4付けで「ぎふ食べきり運動」協力市町村に参加する旨の参加届を岐阜県に提出。 【グリーンライフin飛騨】 グリーンライフin飛騨を活用して管内の事業者に対して参加を呼びかけ、店舗は利用者に対して環境配慮行動を促し、廃棄物や食品ロスの削減を実施した。 (つるや食堂) ・宴会時の3010運動の呼びかけ ・容器持参の上での食べ残しの持ち帰り	—	○	
204	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	Ⅲ 豊かな環境と 個性ある地域資 源を大切にす誇 り高いまち	○ 豊かな自然と 水を守り後世に引 き継ぐ仕組みづく り	② 自然・水資 源を保全する取 組みの推進	Ⅰ ゴミの不法投棄防止の取り組みを推進します。	環境水道部	・地域住民による監視力の強化を図るため不法投棄マップを作成し、全戸配布。 ・不法投棄監視パトロール及び不法投棄物回収を実施。 ・不法投棄が連続して行われる箇所への監視カメラの設置。 監視カメラの設置数 R2: 1箇所 (古川町高野) R3: 1箇所 (古川町高野) R4: 2箇所 (古川町高野、古川町杉崎) ・不法投棄事案を随時市HPへ掲載	投棄物回収実績 R2: 可燃ごみ390kg、缶・ビン113kg、ペットボトル7kg、その他159kg R3: 可燃ごみ 426 kg、缶・ビン 151 kg、金物 82 kg、その他 122 kg R4: 可燃ごみ 338 kg、缶・ビン 125 kg、金物 29 kg、その他 46 kg ・監視カメラで不法投棄現場1件 (警察へ提供するも立件できず)	○	
205	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	Ⅲ 豊かな環境と 個性ある地域資 源を大切にす誇 り高いまち	○ 豊かな自然と 水を守り後世に引 き継ぐ仕組みづく り	② 自然・水資 源を保全する取 組みの推進	Ⅰ 下水道網の完備による河川環境の向上を推進します。	環境水道部	未整備地区である公共下水道 (船津処理区) の梨ヶ根・寺林地区の整備を進めており、令和5年度末で全地区で供用開始となる見込みである。 管渠整備延長 R2: 776m R3:1,026m R4: 551m	汚水処理人口普及率 (水洗化率) R2: 97.3% (85.32%) R3: 97.4% (86.90%) R4: 97.5% (87.94%)	○	
206	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	Ⅲ 豊かな環境と 個性ある地域資 源を大切にす誇 り高いまち	○ 豊かな自然と 水を守り後世に引 き継ぐ仕組みづく り	② 自然・水資 源を保全する取 組みの推進	Ⅰ 環境に配慮した水力発電等のクリーンエネルギー事業の誘致を推進します。	企画部、 環境水道部	平成28年12月より石神用水清流発電所を稼働させている。	発電実績 (売電収入) R2:355,409kwh (13,292千円) R3:416,905kwh (15,592千円) R4:421,426kwh (15,761千円)	○	

No.	大区分	中区分	小区分	細区分	①振返り項目 (政策の方向性)	②主な担当部	③実績 (実施内容、実施時期を記載)	④定量評価 (数値等を具体的に記載)	⑤評価	⑥さらに推進すべき点や 取組みが不十分な点
207	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	Ⅲ 豊かな環境と 個性ある地域資 源を大切にす誇 り高いまち	○ 豊かな自然と 水を守り後世に引 き継ぐ仕組みづく り	② 自然・水資 源を保全する取り 組みの推進	Ⅰ 山林や河川等の自然環境や様々な動植物等を守 り、維持する取り組みを推進します。	環境水道部、 商工観光部	【特定外来生物の防除】 ・特定外来生物防除業務（シルバー人 材センター委託） ・ボランティアによる防除 令和2年度に分布調査を実施し、河合 町、宮川町において新規の植生地点が増 加している状況にあり、県立自然公園等 への侵入が懸念されることから、令和3年 度以降は、自然公園周辺地域において 重点的に防除を実施している。  【海洋プラスチックごみ発生抑制対策】 岐阜県が設定する「重点モデル区域」に参 画（令和5～7年度まで宮川流域の飛 騨市宮川町打保～飛騨市宮川町小豆 沢地内）し、海洋プラスチックごみ対策を 実施。	特定外来生物の防除 (シルバー人材センター委託) R2: 天生・奥飛騨数河流葉の両県立 自然公園周辺及び市内全域の幹線道 路沿線 R3: 天生・奥飛騨数河流葉の両県立 自然公園周辺の幹線道路沿線 R4: 天生・奥飛騨数河流葉の両県立 自然公園周辺の幹線道路沿線 (ボランティア活動) R2: 3団体 R3: 1団体 R4: 3団体  宮川下流域の河川清掃活動 R5.6.18 宮川町桑野地区の宮川河川 敷でボランティア52人、宮川下流漁協組 合員により実施。 ■回収ごみ総合計 205.4kg (可燃ごみ80kg、金物100kg、家具建 具類(木材) 20kg、プラ製品5kg、ビン 0.2kg、埋立ごみ(陶器類) 0.2kg)	○	特定外来生物の防除、分布調査の実施 (5年おき)
208	3. 誇りの持てる 飛騨市づくり - ひとを伸ばす-	Ⅲ 豊かな環境と 個性ある地域資 源を大切にす誇 り高いまち	○ 豊かな自然と 水を守り後世に引 き継ぐ仕組みづく り	② 自然・水資 源を保全する取り 組みの推進	Ⅰ 良好な営農環境及び農地の多面的機能を維持し、 荒廃農地を防ぐ取り組みを推進します。	農林部	農村環境保全のため日本型直接支払等 による地域主体の共同活動や農業生産 活動に対し支援を行った。 また、令和5年度より集落支援員による 農地の粗放的管理（あまり手の掛からな い管理）の実証を行っている。	中山間地域等直接支払交付金実績 R2: 35集落、419.7ha R3: 35集落、424.2ha R4: 35集落、424.7ha 多面的機能支払交付金実績 R2: 29団体、725.2ha R3: 29団体、725.2ha R4: 28団体、686.9ha	△	集積・集約の支障となる遊休農地の再整 備

※ この資料は、令和6年度以降、人口減少先進地飛騨市の最大の課題である「持続可能な飛騨市づくりの追求」のために必要と考えられる事業（継続含む）を抜粋して記載しています。今後の協議によって変更となる場合があります。

## I. まちづくり ～持続可能な後世に誇れるまちをつくる～

### ●再生可能エネルギーの活用

再生可能エネルギー専門人材の活用（企画部）  
脱炭素推進協議会および同協議会個別部会の開催（環境水道部）  
民間における再エネ事業創出に向けた取組みへの支援（環境水道部）

### ●リサイクルの推進

障がい者就労支援事業所との連携によるぼかし製作・配布（環境水道部）  
エコサポートかみおかの民間委託による利便性向上（環境水道部）  
ゴミ出し支援アプリの活用による適正なごみ分別の促進（環境水道部）

### ●平和な社会実現への貢献

市内小中学生による「平和なまち」絵画コンテストの開催（企画部）  
市内中学生の長崎市「青少年ピースフォーラム」への派遣（企画部）  
市民等が考える「平和」をテーマとした短歌コンクールの開催（企画部）  
被爆体験者を招へいしての被爆体験講話の開催（企画部）  
平和都市宣言（企画部）

### ●若者世代が住みやすいまちづくり

魅力ある地元高校づくり（企画部）  
大学との連携による若者世代の郷土愛の醸成（企画部）  
民間賃貸住宅建設促進のための建設費用に対する支援（基盤整備部）

### ●全年代の健康づくり

健康づくりの普及講座と実践リーダー養成による健康意識の醸成（市民福祉部）  
まめとく健康ポイント事業継続による健康づくりの促進（市民福祉部）

### ●生活に困難を抱える方の切れ目のない支援

小学校OT派遣等による学校作業療法の実施（市民福祉部・教育委員会）  
思春期健診の試行検証（市民福祉部）  
ふらっとまちなか相談、ふらっとまちライブラリーの開設（市民福祉部）  
企業と連携した就労困難者の短時間ワーク実地検証（市民福祉部）  
障がい者就労円滑化等のための機器導入支援（市民福祉部）  
市有施設を活用した生活困窮者向け住宅提供体制の整備（市民福祉部）  
市有施設のユニバーサルトイレ化の推進（市民福祉部）

### ●高齢者等への支援

古川町・神岡町内通院時のタクシー利用の助成（総務部）  
移動販売等を行う事業者支援による買い物弱者対策の実施（市民福祉部）  
地域複合サロンの新規立ち上げ等活動の助成（市民福祉部）  
利用ニーズに応じた緊急通報装置対処種類の拡充（市民福祉部）  
高齢者優待カード発行による温浴施設等優待サービスの提供（市民福祉部）

### ●持続可能な地域の暮らしづくり

シルバー人材センターへの空家等維持管理委託費用の支援（総務部）  
山間地域等におけるオンライン診療体制の整備（市民福祉部）  
地域住民による道路除草促進のための支援内容の拡充（基盤整備部）  
雪下ろし時の命綱固定用アンカー設置工事に対する支援（基盤整備部）  
部活動の地域クラブ活動化に向けた推進体制整備（教育委員会）  
将来的な市民病院のあり方の検討（病院事務局）  
団員確保のための消防団活動における負担軽減（消防本部）

### ●地域資源を活用したまちづくり

旧朝開町農産物直売施設跡地利活用の検討（総務部）  
飛騨市・全国薬草フェスティバルの開催（商工観光部）  
古川町町並み夜間景観を活用したまちづくりの推進（商工観光部）  
ロストラインシンポジウムの開催（神岡振興事務所）  
高原川ミズベリングによる通年イベントの開催（神岡振興事務所）

### ●学ぶ環境・文化芸術に触れる環境の整備

保・小・中ふるさと給食（食育）の実施（市民福祉部、農林部、教育委員会）  
小中学校におけるICT機器を活用した授業づくり（教育委員会）  
小中学校特別教室におけるエアコン整備（教育委員会）  
部活動の地域クラブ活動化に向けた移動環境等の整備（教育委員会）  
生涯学べる場としての市民カレッジの開催（教育委員会）  
飛騨市美術館における企画展の開催（教育委員会）  
街なかポケットミュージアムにおける企画展の開催（教育委員会）

### ●市制20周年記念事業の実施

市制20周年記念式典、記念講演の開催（企画部）  
市制20周年記念誌の制作（企画部）  
市制20周年を冠した各種事業の実施（各部局）

### ●省エネの取組促進

庁舎等公共施設の照明のLED化（総務部）  
家庭でできるゼロカーボンアクション講座の開催（環境水道部）  
電気自動車等の購入支援（環境水道部）  
住宅用太陽光発電設備設置に対する支援（環境水道部）  
省エネ住宅リフォーム改修に対する費用助成（基盤整備部）

### ●多文化共生の推進、誰もが自分らしく活躍できるまちづくり

外国人市民等に関する相談窓口の開設（企画部）  
飛騨市での生活やルールに関する日本語・生活教室の実施（企画部）  
飛騨市での生活やルールに関するパンフレットの作成（企画部）  
多文化共生サポーターの認定（企画部）  
住民を対象とした多文化共生勉強会の開催（企画部）  
人権擁護委員等と連携したダイバーシティの普及促進（市民福祉部）  
市民等を対象としたダイバーシティ講演会の開催（市民福祉部）  
外国人材の雇用に関する事業者向けセミナー等の開催（商工観光部）

### ●防災の推進、防災体制の強化

防災行政無線デジタル化工事の着手（総務部）  
防災士会の支部活動の支援（総務部）  
総合防災訓練における防災士による避難所開設訓練の実施（総務部）  
ドローンによる災害時等の迅速な状況把握（総務部）  
電力事業者等と連携した立木伐採によるライフラインの保全（総務部）  
福祉専門職による要支援者個別避難計画の策定、研究会の開催（市民福祉部）  
災害時における災害廃棄物処理のための計画策定（環境水道部）  
公共施設等におけるAED屋外設置の促進（消防本部）

### ●子育て世代への支援

乳幼児期におけるOT相談体制、触覚を育む環境の整備（市民福祉部）  
私立保育園との連携による未満児保育体制の強化（市民福祉部）  
ひとり親応援サロン、親子行事の開催（市民福祉部）  
入園・入学時準備品購入に対する支援（市民福祉部）  
こども版いきいき券「親子ふれあいクーポン」の交付（市民福祉部）

### ●医療・介護人材の確保

県看護協会と連携した潜在看護師の確保（市民福祉部）  
医療技術職確保のための就労時支援制度の拡充（市民福祉部）  
岐阜大学地域医療コース学生との交流実施（市民福祉部）  
介護現場における外国人留学生の運転免許取得支援（市民福祉部）  
医療・介護現場のイメージアップのための情報発信（市民福祉部）

### ●医療・介護・福祉体制の強化

医療・介護職の連携強化のための多職種体験研修の実施（市民福祉部）  
障がい福祉サービス利用キャンセル時の減収補填（市民福祉部）  
神岡地域における地域療育体制の整備（市民福祉部）  
歯科衛生士と連携したサ高住等訪問時の口腔ケア実施（市民福祉部）  
医療・介護・福祉施設における送迎車両購入支援（市民福祉部）

### ●関係人口の拡大、連携によるまちづくり

新港郷における友好交流30周年記念イベントの開催、表敬訪問（企画部）  
新港郷中学校と古川中学校との交流事業の実施（企画部）  
企業CSR事業と連携した企業版ヒダスケ！の実施（企画部）  
飛騨市ファンの集い、ファンクラブバスツアー、おでかけファンクラブの開催（企画部）  
メタバース（仮想空間）を活用した交流機会の創出（企画部）  
サントリー(株)との連携による小学生を対象とした水育授業（企画部）  
ポッカサッポロとの協働による小学生を対象とした食育授業（企画部）  
保育園留学実施による新たな関係人口の創出（企画部）

### ●スポーツを楽しむことができる環境の整備

古川町内における屋内運動場整備に係る実施設計（教育委員会）  
神岡小学校プール改修に係る調査測量設計（教育委員会）  
スポーツ学童会場までの移動環境の整備（教育委員会）

### ●文化財の保全・活用

姉ヶ小路城跡群の保存活用計画策定に向けた委員会開催（教育委員会）  
みやがわ考古民俗館における石棒クラブイベントの開催（教育委員会）  
旧中村家の曳家・基礎部分の改修、葺替用茅の購入（教育委員会）  
傘松城跡の調査成果の活用（教育委員会）  
史跡江馬氏城館跡の計画的な保存修景整備（教育委員会）  
歴史的公文書の調査・整理検討（教育委員会）

## Ⅱ. 産業づくり ～時代のトレンドを捉えた伸び行くマーケットの獲得～

### ●産業分野での省エネ・省力化

水田の水位センサーと給水ゲート導入に対する支援（農林部）  
収穫期予測等のための営農支援システムの試験的運用（農林部）  
レーザー測量等ICT技術を活用した地籍調査の推進（農林部）  
省エネ・省力化・節水等のための事業者設備投資の支援（商工観光部）  
ECサイト構築、システム導入等DX化に対する支援（商工観光部）

### ●海外への特産品の展開

台湾における市産品輸出に向けた商談会の実施（企画部）  
輸出アドバイザーによる市内事業者の販路開拓支援（商工観光部）

### ●人材不足の解消

公共交通事業者の二種免許取得に係る支援（総務部）  
空家を活用した社宅整備に対する支援（商工観光部）  
人材確保のための情報発信に対する支援の拡充（商工観光部）

### ●観光関連施設の魅力アップ

飛騨古川駅におけるバス乗換え案内図と運行状況表示盤の整備（総務部）  
杉崎公園利便性向上のための花壇整備・植樹等の実施（基盤整備部）  
市道大横丁線の無電柱化、大横丁公園整備に係る詳細設計（基盤整備部）  
千代の松原公園再整備に係る基本設計（基盤整備部）  
天生の森と止利仏師ツアーの定期開催（河合振興事務所）  
止利仏師ゆかりの地としての周遊ポイント案内看板の整備（河合振興事務所）  
白木峰登山道における通話可能エリアの表示設置（宮川振興事務所）  
まんが王国における声優体験イベント等の開催（宮川振興事務所）  
神岡鉱山資料館のリニューアルに向けた検討（神岡振興事務所）

### ●持続可能な農林畜産業の実現

遊休農地耕作者への支援による耕作放棄地の再生（農林部）  
水田経営を受託する生産者支援の拡充（農林部）  
農地の集積・集約推進による持続可能な農業の実現（農林部）  
新規就農者確保のための研修体制の整備（農林部）  
農業における障がい者等の雇用による人材不足の解消（農林部）  
所得向上・経営安定に向けた勉強会開催と保険加入促進（農林部）  
耕作放棄地解消に向けた粗放的管理の実証（農林部）  
放牧の実施による耕作放棄地の粗放的活用（農林部）  
家畜診療所整備による各種検査業務の安定した提供（農林部）  
地元産米WCS購入費用の分割払い制度創設による支援（農林部）  
伝承作物の栽培方法や食文化等を遺すためのハンドブックの作成（農林部）  
伝承作物の維持・生産安定化のための生産者勉強会等の開催（農林部）  
持続的な森林整備・管理のための専門人材の育成（農林部）  
集落等による生活環境保全のための森林整備の支援（農林部）  
鳥獣確保担い手確保のための免許取得時の支援拡充（農林部）

### ●グリーン産業の促進

堆肥の活用による化学肥料使用量の低減（農林部）  
木質バイオマス燃料利用による広葉樹の地域内循環の創出（農林部）  
CO2排出抑制見える化による広葉樹製品の高付加価値化（農林部）

### ●国内販路の拡大

都市部における飛騨市サロン開催によるビジネスチャンス創出（企画部）  
農畜産物ブランド化のためのパッケージデザイン等制作支援（農林部）  
首都圏も含めた飛騨市まるごと食堂の開催（農林部）  
食の大使と連携した飛騨市食のPR展開（農林部）  
飛騨鮎のブランド力向上のための取り組み（農林部）  
高付加価値化のための市内モノづくり事業者の育成支援（商工観光部）  
販路開拓のための物産展商店等に対する支援（商工観光部）

### ●自然資源の保全・活用

市有林活用に向けたワークショップ・現地検討会の開催（農林部）  
森林環境保全のための二ホンジカ個体数調査の実施（農林部）  
ユーチューバーを活用した山之村地域の情報発信（商工観光部）  
YAMAPと連携した天蓋山プロモーションの実施（商工観光部）  
森スケを活用した自然環境保全活動の実施（商工観光部）  
池ヶ原湿原の獣害対策用電気柵の設置（宮川振興事務所）  
天蓋山、深洞湿原、北ノ俣登山道の草刈等の実施（神岡振興事務所）

### ●観光誘客の促進

懐かしの居酒屋めし復活プロジェクト（農林部）  
姉小路史跡、江馬史跡等を活用した戦国観光の実施（商工観光部）  
市内スポーツ施設を活用した合宿、大会等の誘致（商工観光部）  
隣接市からの誘客促進を目的としたパンフレット作成（商工観光部）  
企業研修時の支援による受入拡大（商工観光部）  
観光プロモーション大使を活用した市内イベントの実施（商工観光部）  
まつり広場を活用したイベントの開催（商工観光部）  
まつり会館での4Kシアター映画の上映（商工観光部）  
ひだ流葉クロスカントリーの開催（教育委員会）

### ●新規就農者の支援拡大

新規研修生への米1俵贈呈、引越及び家賃等の支援（農林部）  
新規就農1年目の機械等レンタル料の支援（農林部）  
新規就農者が導入する農業機械・設備等に要する費用の支援（農林部）  
新規就農者の保険加入掛金に対する支援拡充（農林部）  
研修生と指導者との定期的な意見交換会の開催（農林部）  
有機農業新規就農者の支援体制の構築（農林部）  
酪農への新規就農者に対する乳牛導入等の支援（農林部）  
畜産独立就農者の施設整備に対する支援（農林部）

## Ⅲ. 市役所づくり ～歳出の縮減を図りつつ体制をスリム化し強靱な市役所をつくる～

### ●アウトソーシングの推進による業務効率化

職員給与支給業務の包括外部委託（総務部）  
民間派遣専門員による移住相談専門窓口の開設（企画部）  
地籍調査の工程管理・検査等を含めた包括外部委託（農林部）  
放課後児童クラブ等運営管理業務の包括外部委託（教育委員会）  
スポーツ施設・学校開放管理業務の外部委託（教育委員会）  
公民館管理業務の外部委託（教育委員会）  
みやがわ考古民俗館の管理外部委託と無人開館の検証（教育委員会）

### ●公共施設の維持・統廃合・売却

公共施設休廃止・解体等による総量削減に向けた庁内検討（総務部）  
指定管理施設適正運営のための使用料見直し（総務部）  
機能・運営体制の強化のための割石温泉管理民間委託の検討（市民福祉部）  
水道施設統合に向けた調査・検討（環境水道部）  
下水道施設統合に向けた調査・検討（環境水道部）

### ●職員のスキルアップと体制強化

他自治体、外部団体等との職員人事交流（総務部）  
政策アドバイザーの設置・活用（企画部）  
高度な救命処置ができる認定救命士の計画的な養成（消防本部）

### ●DX推進による市民サービスの強化

公共交通へのバスアナウンス及び位置情報提供サービスの導入（総務部）  
窓口DXaaS導入による書かない窓口の実現（総務部）  
各種証明書、クーポン券、ポイントカードの電子化（総務部）  
証明書等コンビニ交付普及のための手数料減額（総務部、市民福祉部）  
手帳所持を不要とする障がい者支援アプリの機能拡充（市民福祉部）  
火葬予約システムの導入（市民福祉部）  
オンラインパスポート更新システムの導入（市民福祉部）

### ●事務上の労力軽減

テレワーク環境の整備（総務部）  
新築家屋調査における評価図面の作成委託（総務部）  
郵便物自動仕分け機器の導入（総務部）  
電子預貯金調査システム導入による市税債権回収強化（総務部）  
除雪管理システム導入による事務負担の軽減（基盤整備部）  
公共料金支出のための口座振替システム導入（会計事務局）

### ●市広報・広聴の強化

SNSを活用した広報の実施、LINE機能の拡大（企画部）  
職員の情報発信力強化のための研修実施（企画部）  
市政世論調査、子ども世論調査の実施（企画部）  
シティプロモーションのためのリーフレット、ポスター、動画の制作（企画部）

- この資料は、令和5年10月12日（木）開催の飛騨市総合政策審議会において、委員の皆様からご意見をいただく為の参考資料です。
- この資料に掲載している施策はあくまでも現在検討中の案であり、予算化・実施することを確定したものではありません。
- 今後の協議や予算規模によっては、「事業化を断念」、「前倒して年度内に実施」、「引き続き検討」とする場合があります。
- 資料のお取扱いには十分ご注意くださいようお願いいたします。

# 今後のスケジュール

資料⑤

政策協議

7-10月

予算編成

10-11月

7月

10月

11月

第1回飛騨市総合政策審議会  
(令和5年7月3日) 終了

第2回飛騨市総合政策審議会  
(令和5年10月12日)

予算査定

12-1月

議会審議

2-3月

1月

第3回飛騨市総合政策審議会  
(令和5年12月18日)

第4回飛騨市総合政策審議会  
(令和6年3月29日)